

一般社団法人 愛知県産業資源循環協会 第13回 通常総会開催

令和6年度 愛知県産業資源循環協会暴力対策協議会総会開催

令和6年度 6支部・青年部・女性部総会開催

正副支部長等会議開催

令和6年度環境保全関係功労者表彰式で伊藤泰雄常務理事が環境衛生事業功労者表彰を受賞



尾張北支部事業：豊明市との災害廃棄物の仮置場設置・運営訓練



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

一般社団法人

愛知県産業資源循環協会

私たちは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

<http://www.aisankyou.com> E-mail: info@aisankyou.com



4つの焼却システムで多種類の廃棄物を完全燃焼 環境管理も最新設備で万全

●ロータリーキルン炉による焼却

●バーナー噴霧による焼却

●台車炉による焼却

●揺動式ストーカー炉による焼却

近藤産興の産業廃棄物焼却プラント飛島工場



近藤産興株式会社

〒457-8535 名古屋市南区浜田町 1-10
TEL.052-614-2511 FAX.052-611-5826

飛島工場

〒490-1435 愛知県海部郡飛島村大字梅之郷字東梅 15
TEL.0567-55-2847 FAX.0567-55-0506



MEIKI
CLEANER

わたしたちにできること。

お客様のために。その先にいるお客様のために。「私たちの成長が、未来をもっと良いものにする。」

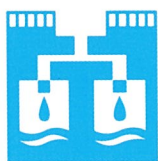
その想いを胸に、リサイクルへの架け橋として 日々成長し続けています。



環境の未来をいちばんに考え、
あらゆる分野の廃棄物の処理システムをご用意しています。



焼却



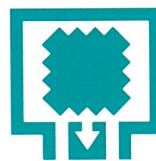
油水分離
脱水・中和



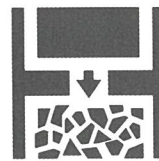
圧縮梱包



選別



減容固化



破碎

一般・産業廃棄物処理許可業者

株式会社 **明輝クリーナー**

URL <http://www.meiki-c.com/>
MAIL meiki@lilac.ocn.ne.jp



本社

〒441-8123 愛知県豊橋市若松町字中山101-34
TEL.0532-25-1026 (代) FAX.0532-25-1227

原町工場

〒441-3111 愛知県豊橋市原町字南山1-99
TEL.0532-41-7530 FAX.0532-43-0165
ヨイナゴミゼロ

循環型社会
推進企業をめざす

ASS
AMA SEISOU

廃棄物を明日に残さない
環境保全の約束です。

今日をベストゼロエミッション。

《14年対応最新設備の燃焼施設完成》

収集運搬



選別

再資源化



焼却



株式会社
海部清掃

■本社／愛知県あま市西今宿平割二6番地
TEL.052-441-5353 FAX.052-441-5427
<http://amaseisou.co.jp>

■リサイクルセンター／愛知県あま市ニツ寺上長2番1号
TEL.052-442-8493 FAX.052-442-8508

業 務 内 容	産業廃棄物許可		特別管理産業廃棄物許可		一般廃棄物許可	
	収集運搬	愛知県・岐阜県・三重県・長野県	収集運搬	愛知県・岐阜県・三重県・長野県	収集運搬	あま市・愛西市・一宮市・稲沢市・大治町・春日井市・蟹江町・北名古屋市・清須市・津島市・弥富市
	処 分	愛知県 ・中間処分／圧縮・圧縮・選別・焼却・選別・破碎・破碎・選別	処 分	愛知県 ・中間処分／焼却	処 分	あま市 ・中間処分／焼却・破碎・選別

産業廃棄物の再資源化情報を募集します！

【趣旨・目的】

当協会では、会員企業において取り組まれている再資源化事業（マテリアルリサイクル、ケミカルリサイクル、サーマルリサイクル又はそのための選別処理など）に関する情報を広く募集します。

皆様からいただいた再資源化事業は、当協会ウェブページに「再資源情報サイト」を構築し、広く情報発信するほか、環境イベント等においてPRします。また、先進的な取組については「循環あいち」に詳細をご紹介させていただくとともに、いずれは再資源化事業事例集として取りまとめることも計画しています。

このように当協会会員による再資源化の取組を広く周知することにより、廃棄物の再資源化を希望する排出事業者とのマッチングを促進するとともに、再資源化事業推進の機運醸成を図ることにより、循環型社会、脱炭素社会の構築に貢献したいと考えています。

【情報提供していただく方法】

当協会ウェブページの「協会ニュース」→「再資源化情報」から、「記入様式・記入事例」をクリックして様式をダウンロードします。ダウンロードした作成事例を参考に処理フロー図、写真・イラストなどにより、一般の方々にもわかりやすいように再資源化情報を取りまとめていただき、当協会のメールアドレス (info@aisankyoku.com) 宛に送信してください。



様式ダウンロード
の二次元コード

【作成事例】

産業廃棄物の再資源化情報及び環境配慮（SDGs等）情報

廃棄物リサイクル事業を通じて、サーキュラーエコノミーとSDGs達成に貢献します！！			
会社名	有限会社愛知環境センター	SDGsゴール	     
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類（軟質） 紙くず	環境配慮	・ISO14001 認証取得（環境マネジメントシステム） ・あいち女性輝きカンパニー認証取得（女性の活躍促進） ・健康経営優良法人認定取得（従業員の健康増進） ・愛知県健康経営推進企業への登録（従業員の健康増進） ・大口町アダプトプログラムへの参加（定期的な公園や道路の清掃） ・廃プラスチックからつくるアクセサリーの製作（マテリアルリサイクルへの取組み）
再資源化物の名称	フラフ燃料（CPF）		
リサイクルの種類	サーマルリサイクル マテリアルリサイクル		
再資源化のフロー	☆サーマルリサイクル事業☆	平成21年よりサーマルリサイクル事業に取組んでおり、現在は月間約500tのフラフ燃料を製造しています。 廃プラスチック類を破碎後、圧縮・梱包し、製紙工場やセメント工場に石炭の代替燃料として出荷しています。	

お使いの無線機は大丈夫ですか？

＜総務省東海総合通信局からのお知らせ＞



原則として、**電波を発射するには無線局の免許又は登録が必要です。**（無線局免許がない無線機の電源がオフ、またはマイクやアンテナが外されている状態でも、すぐに電波の発射が可能な状態に復元できる場合は、電波法違反になります。）

不法無線局(免許されません)

不法市民ラジオ（不法CB無線）



不法CB無線機

送受信機とアンテナが分離。ブースターを接続して1 kWを超える電力を送出する不法無線局がある。

【不法無線局による主な妨害事例】

- スピーカーやドアホン等家電製品の音声に混信。
- 電子機器（OA機器等）が誤作動
- 漁業用無線が使用できなくなる。

不法パーソナル無線



パーソナル無線機

以前は免許制度がありましたが、現在合法に運用できる無線局は存在しません。

- 【不法無線局及び改造機による主な妨害事例】
- 携帯電話が使用できない。

外国規格のトランシーバー（FRS、GMRS等）



インターネット通販サイト等で販売されているが、国内規格の無線機（簡易無線局用無線機、特定小電力トランシーバー等）に比べて、安価（数千円程度）であり、「通話距離が長い、チャンネル数が多くて便利」と宣伝されている。防災行政用無線や放送事業用無線等の重要無線通信に妨害を与える。

- 技適マーク  の表示なし。
- 海外の見慣れないメーカー製が多い。

会社のダンプ、トラックにアマチュア無線機を設置している方へ

【アマチュア無線はルールを守って正しく使いましょう】

• 仕事に使っては、いけません。

公共事業や復興事業であっても、営利活動のためにアマチュア無線を使用することはできません。（業務用通信を行う場合は、簡易無線等を使用しましょう。）

• コールサインは、必ず言いましょう。

不法局と誤解されないために、通信のはじめと10分に1回はコールサインを送信しましょう。

• 免許された内容で、運用しましょう。

• 周波数の使用区別を守りましょう。

<https://www.soumu.go.jp/soutsu/tokai/denpa/siyoukubetu/index.html>（総務省ホームページへ）

• 総務省では、不法電波を監視しています。

お問い合わせ先：総務省東海総合通信局 電波監理部監視調査課

TEL: 052-971-9472

<https://www.soumu.go.jp/soutsu/tokai/>



経営改善 DX は見える化からはじまる



JEMS の経営課題解決への3つのアプローチ

①業務の見直し

業務プロセスの見える化で問題
や課題を洗い出し

②システム化

貴社業務に沿った 業界特化型
基幹システムで業務改善を実現

③アウトソーシング

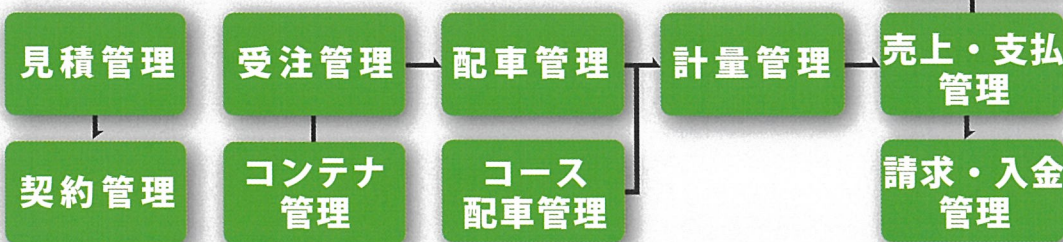
マニフェスト業務を効率化する
業界専門アウトソーシングサービス
システム外でも業務改善を支援



廃棄物処理・資源リサイクル業に特化した
多様な業務を一気通貫で
管理できる基幹システム

業務システムフロー

各業務間でのデータ連携により無駄を削減



今秋郵政料金が値上げ！
電子請求から始めるコスト削減と業務DX

6/19 11:00~11:40
6/25 14:00~14:40

環境省登壇
再資源化事業等高度化法がもたらすビジネスの变革

オンライン
7/23 10:30~12:00
7/31 14:00~15:30

今秋の郵政料金値上げ対策、
環境省登壇の再資源化事業等高度化法など
業界動向やIT最新情報に関する
オンラインセミナーを随時開催中！

お申し込みはこちら



ITで環境問題に挑む

株式会社JEMS (読み方: ジェムス)
本社 茨城県つくば市東新井 31-13
東京事業所 京都事業所
名古屋営業所 福岡営業所

0120-857-493
電話受付時間 平日 9:00 ~ 18:00
h-eigy@j-ems.jp

www.j-ems.jp/shogun

環境将軍R 検索

SDGs実装支援サービス

SDGsに関するお悩み なんでも解決します!

企業経営者や担当者の皆さんが抱えるSDGsに関するお悩み解決支援サービスを行っております。社内への浸透から、経営への組み込みまでSDGs実装サービスをご提供しています。SDGsの企業行動指針である「SDG Compass」などをベースに、5つのステップごとに、各企業様の課題や取り組み方法についてニーズに合ったメニューをご提案させていただきます。

1 世界中の人々が達成に向けて取り組んでいるSDGs。あなたの会社は何かしていますか?

2 今、まさにビジネスチャンス!

3 優秀人材の採用、新規顧客獲得などたくさん! 企業の長期成長には必須です!

4 でも、何から始めていいかわからない...

5 そんな時は! **SDGs実装支援サービス!!**

主なサービス

SERVICE 01 SDGsの理解促進

SERVICE 02 優先課題の決定

SERVICE 03 目標設定支援

SERVICE 04 各種ソリューション対応

SERVICE 05 各種レポート作成支援

あらゆる業界の企業・団体にご利用されています
自動車部品メーカー／新聞広告社／廃棄物中間処理業社／
建築・建設会社／建設系機材メーカー／教育機関

お問い合わせ

加山興業株式会社

【豊川本社】〒442-0008 愛知県豊川市南千両2-67

0120-053-381

加山興業 SDGs

検索

KAYAMA



update!

ホームページリニューアルのお知らせ

日頃より一般社団法人愛知県産業資源循環協会のホームページをご利用いただき、誠にありがとうございます。

今回のリニューアルでは、利用者様の視点に立ち、各取組を分かりやすく知りたい情報へいち早くアクセスできるようシンプルな構造に、利便性の高い情報発信ツールとしてサイトの構築を図りました。

一例として、トップページの **循環あいち** には過去号が格納、

青年部

女性部

には最新の活動情報が掲載されています。

今後も情報化社会に即した取組を進めてまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

一般社団法人

愛知県産業資源循環協会

<https://www.aisankyou.com> E-mail: info@aisankyou.com



一般社団法人 愛知県産業資源循環協会 第13回 通常総会開催	2
令和6年度 一般社団法人 愛知県産業資源循環協会 会長表彰・特別功労者表彰	
令和6年度 公益社団法人 全国産業資源循環連合会 会長表彰	
基調講演：資源循環業界におけるサーキュラーエコノミーの実装化に向けて 懇親会	
令和6年度 愛知県産業資源循環協会暴力対策協議会総会開催	10
協会ニュース	
正副支部長等会議開催	12
令和6年度環境保全関係功労者表彰式で伊藤泰雄常務理事が環境衛生事業功労者表彰を受賞	13
令和6年度エコアクション21認証取得セミナー開催	14
豊川市制施行81周年記念表彰式	15
令和6年度中部四県産業廃棄物不法処理防止連絡協議会合同会議報告	16
2024年度暴力追放セミナー報告	17
環境月間・不法投棄防止パトロール	
名古屋支部、尾張西支部、尾張北支部、尾張南支部、西三河支部、東三河支部	18
企業訪問 資源循環レポート	
廃石膏ボードのリサイクルに特化 二水石膏のままで有効利用 CO ₂ 削減に大きく貢献 / (有) メイコウ工業	24
対 談	
集え、仲間と 伝えよ、想いを さらに高みを目指して 進め女性部	26
支部・青年部・女性部ニュース	
名古屋支部、尾張西支部、尾張北支部、尾張南支部、西三河支部、東三河支部、青年部、女性部、 全国産業資源循環連合会青年部協議会・中部ブロック、全国産業資源循環連合会女性部協議会	32
新会員紹介	
<正 会 員> (有)マルイ紙業	
<賛助会員> 新英エコライフ(株)	52
事務局だより	
理事会報告・会員情報の変更	54
広報編集委員交代のお知らせ	
退任者・新任者からのメッセージ	56

一般社団法人 愛知県産業資源循環協会 第13回 通常総会開催



一般社団法人 愛知県産業資源循環協会 第13回 通常総会が、令和6年6月10日(月)午後1時からANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋(名古屋市中区)で会員501社(委任状357社を含む。)が出席して開催されました。

一般社団法人 愛知県産業資源循環協会「第13回 通常総会」が開催され、常務理事 相木 徹氏が司会・進行を執り行い、総会の出席者数、委任状の提出社数の報告、及び開会の辞を述べました。



司会・進行の
相木常務理事

挨拶で会長 永井良一氏は、「只今、ご紹介をいただきました、一般社団法人愛知県産業資源循環協会会長の永井良一でございます。

本日は、第13回通常総会ということで、一般社団法人として、活動し始めてから、早くも13年目となります。総会の開催に当たりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

本日の総会に多数の方にご参加いただきましたことに感謝申し上げます。

さて、私どもの業界は、日々排出される多種多様



挨拶をする
永井会長

な産業廃棄物の適正処理や、これらを有効資源として効率的に循環させるための基幹産業団体として、資源化・リサイクルの取組を積極的に推進しているところであり、製造品出荷額等が昭和52年から45年連続日本一を続ける「ものづくり愛知」を支え、社会に欠くべからざる重要な役割を担っている業界であります。

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが政府方針により昨年の5月8日から季節性インフルエンザと同じ第5類に変更され、社会経済活動は回復途上にあり、実質国内総生産(GDP)はコロナ禍前を上回りましたが国内民間需要は個人消費や設備投資を中心にコロナ禍前のピークを大きく下回っており、経済が正常化したとはまだ言い切れな

い状況で、まだまだ産業活動への影響が随所に現れており、当業界を取り巻く景況動向は、厳しいものがあります。将来に向かって、この難局を乗り越え、更なる発展をしていかなければなりません。

そのためには、これまでも増して、資源循環の更なる推進、適正処理の徹底に努める他、環境配慮契約法への適切な対応や、優良認定制度に基づく優良産業廃棄物処理業者の育成などに取り組んで行かなければなりません。

このような中、私が会長を務めており、当協会の上部団体である公益社団法人 全国産業資源循環連合会では、資源循環を促進していく上で、産業廃棄物処理業界が処理の単なる「受け手」から産業廃棄物から資源やエネルギーを製造する「創り手」へ変貌して行くために、産業廃棄物処理産業の振興法案を作り、法制化するために関係機関等に働きかけているところで、皆様のご理解とご支援を賜りたいと考えております。

また、近年、頻繁に発生する自然災害によって発生する災害廃棄物処理においても、当業界は重要な役割を担っています。

昨年の6月2日、台風2号により線状降水帯が発生し、愛知県でも西三河地域及び東三河地域で大雨となり、多くの河川が氾濫し、家屋の浸水被害が起きました。豊川市においては被害の程度が大きく、当協会に「災害時における災害廃棄物処理に関する協定」に基づく支援要請があり、令和元年の長野県千曲市の災害廃棄物処理の支援の経験を活かし、災害廃棄物処理対策特別委員会及び東三河支部会員企業が中心となって災害廃棄物処理の支援活動を迅速に行うことができました。また、6月3日には豊川市制施行81周年記念表彰式で豊川市長様から感謝状をいただくことができました。これもひとえに皆様のおかげです。ありがとうございました。

このように、いち早く的確な災害復旧、復興を図るためには、我々業界が緊急応急対策として災害廃棄物処理を担って行かなければならない使命があると考えております。



新役員の皆様

今後とも、会員の皆様方と力を合わせ、産業廃棄物の適正処理はもとより災害廃棄物対策、資源循環型社会の構築、脱炭素社会の実現等、業界発展のために努力してまいりたいと考えております。

本日は、令和5年度の事業報告及び収支決算報告の承認について、定款の一部変更について、任期満了に伴う役員改選についてご審議いただく総会であり

ます。よろしくご審議をお願いいたしまして、簡単ですが、第13回通常総会の開会に当たりましての私のご挨拶とさせていただきます。本日は、どうぞよろしくお願い申し上げます。」と述べました。

議長に副会長 中野兼司氏が選任され、議長から議事録署名人に議長の中野副会長、永井会長、理事 金田英和氏、理事 冨田昭夫氏が指名され議案審議が行われました。



議長を務める
中野副会長

- 第一号議案 令和5年度事業報告承認について
- 第二号議案 令和5年度収支決算報告承認について
- 第三号議案 定款の一部変更について
- 第四号議案 任期満了に伴う役員改選について

第一号議案、第二号議案は関連があるため一括して審議されることとなり、専務理事 堀部隆司氏、監事 丹羽庸介氏より説明があり審議が行われ、賛成多数により原案通り承認されました。

第三号議案については堀部専務理事より、定款の第13条の一部を変更するとともに、附則の追加について、変更理由も併せて説明があり審議が行われ、賛成多数により原案通り承認されました。

第四号議案については堀部専務理事より説明があり、各支部等において推挙された理事・監事候補の方が前列に並び審議が行われ、賛成多数により原案通り承認されました。

次に、会長、副会長、業務執行理事としての専務理事、常務理事を選任するため、臨時理事会が別室にて開催されました。その結果を中野議長が発表し、呼ばれた方から前列に並び紹介されました。

全ての議案審議が終了し、中野議長は降壇され、新美三良副会長が閉会の辞を述べ、総会は閉会となりました。



閉会の辞を述べる
新美副会長

令和6年度

一般社団法人 愛知県産業資源循環協会・愛知県産業資源循環協会暴力対策協議会
役員名簿

役 職	氏 名	会 社 名
会 長	永井 良一	永一産商 (株)
副会長	中野 兼司	(株) 東伸サービス
副会長	新美 三良	(有) 三洋サービス
専務理事	小野 俊之	(一社) 愛知県産業資源循環協会
常務理事	伊藤 泰雄	(株) ダイセキ
常務理事	相木 徹	オオブユニティ (株)
理 事	富田 昭夫	(株) 富田商店
理 事	松井 忠博	(有) 松井工業
理 事	土田 浩通	(一社) 愛知県建設業協会
理 事	東久保真弓	(有) 愛知環境センター
理 事	山本 浩也	(株) ダイセキ環境ソリューション
理 事	南村 朋幸	大和エンタープライズ (株)
理 事	鬼頭 秀幸	(有) リサイクリング産業
理 事	石山 勝範	(株) エヌジェイエス

役 職	氏 名	会 社 名
理 事	藤本 和也	(株) ワールド・クリーン
理 事	今村 昌根	(株) 新栄重機
理 事	金井 邦剛	(株) ハヤブサ環境サービス
理 事	永井 弘児	永一産商 (株)
理 事	山本 英之	明倫運輸 (株)
理 事	中嶋 久則	久栄運輸 (株)
理 事	都筑 章	(株) 野間砂鋳業所
理 事	清水 善実	(株) シミズ
理 事	加山順一郎	加山興業 (株)
理 事	野村 幸司	東亜合成 (株)
理 事	富田 康祐	(株) 富田商店

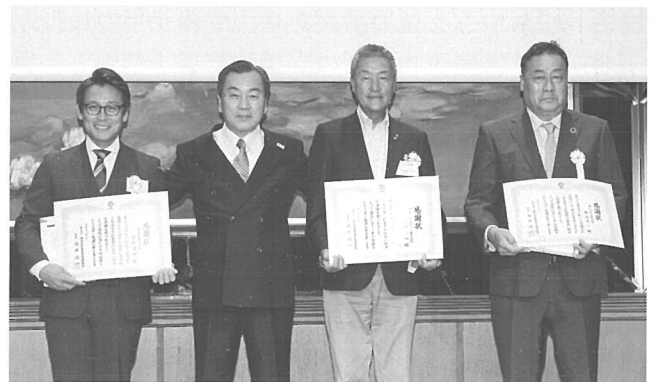
監 事	丹羽 庸介	(株) 鈴鍵
監 事	浅井 明利	(有) 浅井商店

令和6年度 一般社団法人 愛知県産業資源循環協会 会長表彰

総会終了後、協会事業に対し多大な貢献をされた「特別功労者」表彰3名、「功労者」表彰3名、規範となり県の産業廃棄物処理業に寄与された「優良事業所」表彰3社、同一事業所勤続10年以上で他の模範となる「優良従事者」表彰13名に、永井会長から表彰状と記念品が手渡されました。

[特別功労者表彰]

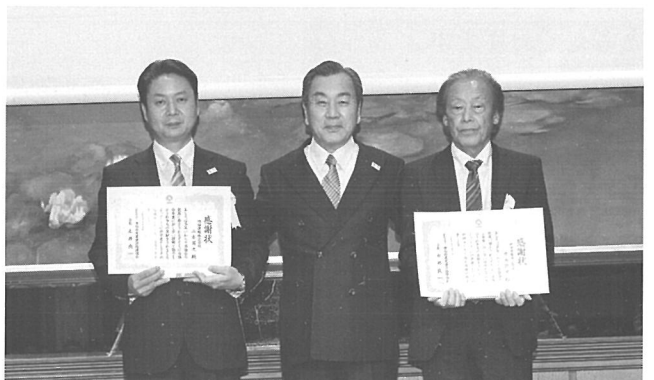
金田 英和	サンコーリサイクル株式会社
鶴山 圭一	株式会社星野産商
天野 晃明	岡崎技研株式会社



永井会長と特別功労者表彰の受賞者様

[功労者表彰]

山本 英之	明倫運輸株式会社	(名古屋支部)
中島 博史	昭栄金属株式会社	(尾張西支部)
中西 清	株式会社尾張クリーンパイプ	(尾張北支部)



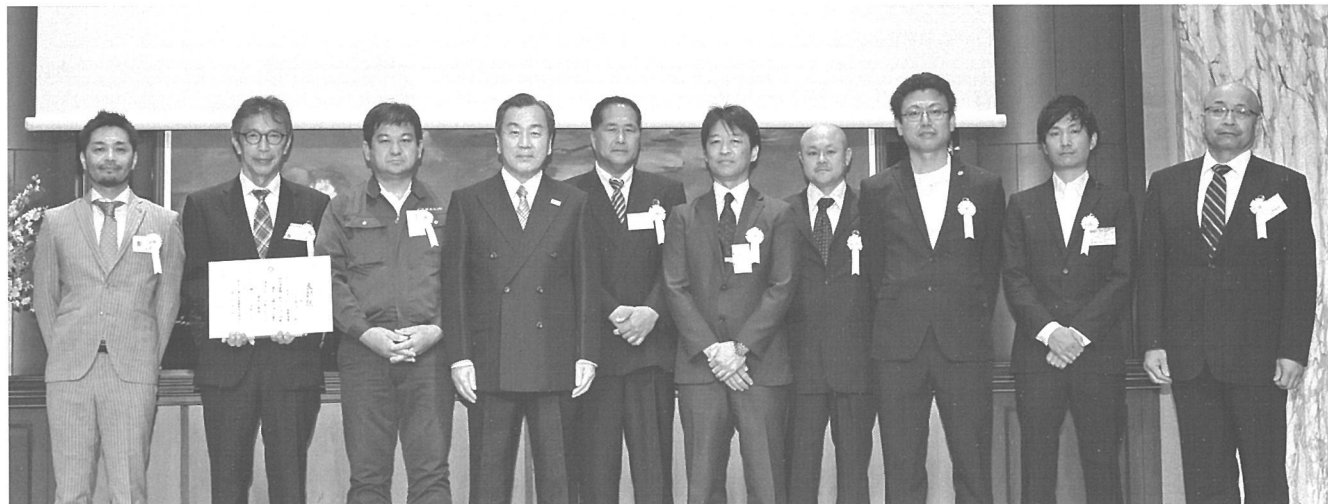
永井会長と功労者表彰を受賞された皆様

[優良事業所表彰]

アルメック株式会社	(尾張南支部)
岡崎リサイクルセンター株式会社	(西三河支部)
株式会社トヨジン	(東三河支部)



永井会長と優良事業所表彰を受賞された皆様



永井会長と優良従事者表彰を受賞された皆様

[優良従事者表彰]

山森 浩二	ヤマケン株式会社	(名古屋支部)	中川 和哉	大同エコメット株式会社	(尾張南支部)
三芳 哲也	近藤産興株式会社	(名古屋支部)	土井 健司	株式会社三四四	(尾張南支部)
長塚 高志	株式会社ユニオンサービス	(名古屋支部)	糟谷 崇	株式会社エヌジェイエス	(西三河支部)
佐藤 廣晃	株式会社海部清掃	(尾張西支部)	田村 直樹	石橋建設興業株式会社	(西三河支部)
安江 晶弘	株式会社リバイブ	(尾張西支部)	竹内 茂徳	サーラ物流株式会社	(東三河支部)
砂田 幸司	株式会社東伸サービス	(尾張北支部)	村野 賢吾	成和环境株式会社	(東三河支部)
稲垣 彰一	坪井金属有限会社	(尾張北支部)			

令和6年度 公益社団法人 全国産業資源循環連合会 会長表彰

■功労者表彰

鶴山 圭一	星野産商株式会社
-------	----------

■優良事業所表彰

サンコーリサイクル株式会社

■地方功労者表彰

中嶋 久則	久栄運輸株式会社
丹羽 庸介	株式会社鈴鍵

■地方優良事業所表彰

株式会社知多環境保全センター
有限会社渥美商会
加山興業株式会社

■優良従事者表彰

近藤総一郎	近藤産興株式会社
藤井 隆之	株式会社海部清掃
今村 昌根	株式会社新栄重機
迫本 哲也	オオブユニティ株式会社
安達健太郎	サンエイ株式会社
中尾 茂弘	株式会社マルサワ

基調講演

資源循環業界における サーキュラーエコノミーの実装化に向けて



- ・日 時：令和6年6月10日（月）
- ・場 所：ANAクラウンプラザホテル
グランコート名古屋 ローズルーム5階
- ・参加者：144名
- ・講 師：環境省 環境再生・資源循環局
廃棄物規制課長 まつだ たかゆき 松田 尚之 氏

◆講師プロフィール

平成8年北海道大学大学院工学研究科修了。同年厚生省に入省し産業廃棄物対策室に配属。以後、環境省の廃棄物対策課、地方環境事務所等、厚生労働省健康局水道課にて従事され現在に至る。

一講演内容

1. 循環経済に関する目標・課題
2. 政府全体でもCE加速化にギアチェンジ
3. 循環経済の推進に向けた取組
4. 資源循環の促進のための再資源化事業等の高度化に関する法律について

1. では、循環経済（CE：Circular Economy）への移行は、資源や製品を経済活動の様々な段階で循環させることが新たな成長の扉を開く鍵であり、循環経済は今後大きな経済効果を生む可能性があるとして、成長が期待される分野です。そのためにもCN（Carbon Neutral）の実現に向けて資源循環の加速化は不可欠です。

カーボンニュートラルの達成には従来の、 $CN = \text{省エネ} + \text{再エネ} + CCUS^1$ 、を、 $CN = \text{省エネ} + \text{再エネ} + \text{CE} + CCUS$ へシフトさせていきます。

各国での資源循環に向けた戦略的取組の展開について解説され、日本において循環経済への移行に際し、動静脈が一体となったすり合わせが必要であり、



講演をする松田講師

このすり合わせこそが、世界の追従を許さない日本の勝ち筋です。

2. では、岸田総理のサーキュラーエコノミー（CE）に関する発言や、総理らと有識者とのCEに関する車座対話についての話があり、また、GX（Green Transformation：化石燃料をできるだけ使わず、クリーンなエネルギーを活用していくための変革やその実現に向けた活動）推進戦略を22分野に提示し、投資戦略の対象を定めた。

GX型サプライチェーンの関係として、「くらしGX」を構築するため、『素材』➡『重要物品、クリーンエネルギー』➡『最終商品』の循環ループ（GX市場）を国内に確立しサプライチェーンをGX型に革新します。

ここでの『素材』とは、クリーンスチール、クリーンケミカル等、『重要物品、クリーンエネルギー』とは、再エネ、原子力、『最終商品』とは、低CFP（Carbon Footprint of Products）なCEV（Clean Energy Vehicle）等を指します。

資源循環の分野別投資戦略の方向性が定まったところで、先行投資計画のイメージやロードマップ、GX関連の環境省の予算について説明をしました。

3. では、循環経済（CE）推進に向けた環境省の取組、令和6年夏頃に閣議決定する予定の第五次循環型社会形成推進基本計画（案）について説明が

¹ CCUS：Carbon dioxide Capture, Utilization and Storage
二酸化炭素回収、有効利用、貯留

ありました。

改定のポイントは二つ。

循環経済への国家戦略でもある第五次計画の中の、“循環経済への移行を前面に打ち出す”と、“気候変動や生物多様性保全といった環境面に加え、経済安全保障・産業競争力強化・地方創生・質の高い暮らしの実現にも貢献”を、将来世代の未来につなげる国家戦略として策定するものです。

令和5年6月に静脈産業においても脱炭素型資源循環システムの構築に向けて、小委員会を設置することが決まりました。循環型社会を実現するために必要な静脈産業の脱炭素型資源循環システムを構築するための具体的な施策のあり方について審議を行い、パブリックコメントを実施したうえで、令和6年1月に第6回小委員会で報告書を取りまとめました。同年2月、中央環境審議会より環境大臣に意見具申を行い、同報告書を公表しました。これにより脱炭素型資源循環システムの構築は急務であり、その実現に向けて、制度的・予算的対応を総合的かつ速やかに講じていくべきです。

4. では、資源循環の促進のための再資源化事業等の高度化に関する法律の概要について、説明がありました。

令和6年3月15日「資源循環の促進のための再資源化事業等の高度化に関する法律案」が閣議決定し、5月22日に参院本会議で可決成立しました。

本法においては、脱炭素化と再生資源の質と量の確保等の資源循環の取組を一体的に促進するため、基本方針の策定、特に処分量の多い産業廃棄物処分業者の再資源化の実施の状況の報告及び公表、再資源化事業等の高度化に係る認定制度の創設等

の措置を講じます。

運用に向けて基本方針の策定では、再資源化事業等の高度化を促進するため、国として基本的な方向性を示し、一体的に取組を進めていく必要があることから、環境大臣は、基本方針を策定し公表します。

次に、再資源化の促進（底上げ）では、“再資源化事業等の高度化の促進に関する判断基準の策定・公表”、“特に処分量の多い産業廃棄物処分業者の再資源化の実施状況の報告・公表”することにより、再資源化の高度化に向けた産業全体の底上げが目的です。

それにより、再資源化事業等の高度化の促進（引き上げ）を促します。具体的には、再資源化事業等の高度化に係る国が一括して認定を行う制度を創設し、生活環境の保全に支障がないよう措置を講じさせた上で、認定を受けた者は廃棄物処理法の廃棄物処分業の許可等を受けないで、再資源化事業の実施や、廃棄物処理施設の設置をすることができます。

イメージとしては、①事業形態の高度化（製造側が必要とする質・量の再生材を確保するため、広域的な分別収集・再資源化の事業を促進）②分離・回収技術の高度化（分離・回収技術の高度化に係る施設設置を促進）③再資源化工程の高度化（温室効果ガス削減効果を高めるための高効率な設備導入等を促進）と、3つの例をあげました。

底上げと引き上げの取組により、脱炭素化の推進、産業競争力の強化、地方創生、経済安全保障への貢献へと向かう流れの説明がありました。

以降、総則、基本方針等、廃棄物処分業者の判断の基準となるべき事項、再資源化事業等の高度化に関する認定制度についての説明、及び参考事例があげられ基調講演は終了しました。



講演をする松田講師



講演の様子

懇親会

懇親会は午後5時から、同ホテル7階 ザ・グランコートにおいて231名が参加し開宴されました。

開会の辞を副会長 中野兼司氏が述べ、会長挨拶で永井会長は、「只今、ご紹介をいただきました、一般社団法人愛知県産業資源循環協会会長の永井良一でございます。



開会の辞を述べる
中野副会長

まず、元旦に能登半島地震でお亡くなりになりました方々のご冥福をお祈りいたします。また、被害に遭われた方々にお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧復興をお祈り申し上げます。



開会挨拶をする
永井会長

それでは、第13回通常総会・懇親会の開催に当たりまして、ひとことご挨拶を申し上げます。

総会懇親会は令和元年の第8回通常総会を最後にコロナ禍のために開催を見送っていましたが、昨年の5月8日に新型コロナウイルス感染症の分類が、2類から5類に移行した以降は概ね収まったことから、5年ぶりに、こうして開催させていただくことができました。例年と同様に、多数のご来賓の方々、並びに多数の会員の方々にご参加いただきましたことを感謝申し上げます。ありがとうございます。

さて、本日はお忙しい中、内閣府副大臣自由民主党衆議院議員 工藤彰三様、参議院政府開発援助等及び沖縄・北方問題に関する特別委員会委員長 自由民主党参議院議員 藤川政人様、自由民主党政調会長代理 自由民主党参議院議員 片山さつき様、経済産業大臣政務官兼内閣府大臣政務官自由民主党衆議院議員 石井拓様、また、行政・関係団体から愛知県副知事 牧野利香様、環境省中部地方環境事務所所長 小森 繁様、を始め多くのご来賓の皆様



開会の挨拶をする永井会長

ご出席いただきまして、心よりお礼申し上げます。

日頃は、当協会の諸事業に対しまして、格別のご指導・ご鞭撻を賜り、この場をお借りしまして、厚くお礼申し上げます。

また、本日ご来賓としてお越しいただいている国会議員の先生方は当協会の政治連盟の「国会議員と語る会」で会員の皆様のご要望に真摯にご対応していただいています。先生方にも引き続き皆様のご支援をよろしくお願いいたします。」と述べました。



来賓挨拶をする
牧野愛知県副知事



来賓挨拶をする
工藤衆議院議員



来賓挨拶をする
藤川参議院議員



来賓挨拶をする
片山参議院議員

来賓の挨拶は、牧野利香愛知県副知事、工藤衆議院議員、藤川参議院議員、片山参議院議員、石井衆議院議員、小森中部地方環境事務所長から祝辞をいただきました。

その後、来賓の皆様の紹介、祝電の披露が行われ、会食の時となりました。

乾杯の発声は新美三良副会長が音頭を取り、賑やかに会食が始まりました。

懇親会は、令和元年「第8回通常総会」以来の開催です。当時の協会の名称は「(一社)愛知県産

業廃棄物協会」であり、6年という年月は業界を取り巻く社会環境を大きく変えました。基調講演の中でも、今後の静脈産業の再資源化事業の取組が経済・環境に大きく影響していくとのことでした。

来賓の方々の挨拶では、カーボンニュートラルの達成に向けて、産廃業界への期待の大きさ、関係諸団体からも応援をいただいていることをお話しいただけ、会員の皆様に周知できたことが大きな成果といえます。

会場内で楽しく会食する様子、和やかに話し合う姿に、コロナ禍の収束がうかがわれました。

閉会の辞は常務理事 伊藤泰雄氏が述べ、懇親会はお開きとなりました。



乾杯の発声をする
新美副会長



閉会の辞を述べる
伊藤常務理事



来賓挨拶をする
小森所長



来賓挨拶をする
石井衆議院議員



来賓の皆様



新美副会長による乾杯

懇親会来賓者一覧

(順不同・敬称略)

愛知県副知事(愛知県知事大村秀章様代理) 牧野 利香
内閣府副大臣 自由民主党衆議院議員 工藤 彰三
参議院政府開発援助等及び沖縄・北方問題に関する特別委員会委員長 自由民主党参議院議員 藤川 政人
自由民主党政調会長代理 自由民主党参議院議員 片山さつき
経済産業大臣政務官兼内閣府大臣政務官
自由民主党衆議院議員 石井 拓
文部科学副大臣 自由民主党衆議院議員
今枝 宗一郎様(秘書) 高光 翔
前経済産業副大臣兼内閣府副大臣
自由民主党参議院議員 酒井庸行様(秘書) 鈴木 秀二
環境省中部地方環境事務所 所長 小森 繁
愛知県環境局長 武田 祥延
名古屋市環境局事業部長 伊藤 幸雄

名古屋市環境局事業部廃棄物指導課 課長 河野 友成
一般社団法人 岐阜県産業環境保全協会 会長 澤田 裕二
一般社団法人 岐阜県産業環境保全協会 専務理事 大坪 敬明
公益社団法人 静岡県産業廃棄物協会 会長 岩間 雄一
公益社団法人 静岡県産業廃棄物協会 専務理事 松浦 敏明
一般社団法人 三重県産業廃棄物協会 会長 堀川 勉良
一般社団法人 三重県産業廃棄物協会 専務理事 和田 一人
愛知県中小企業団体中央会 情報調査部長 牛丸 穰
愛知県衛生事業協同組合 参事 伊藤 勝至
愛知県衛生事業協同組合 事務局長 福永 泰生
名古屋市一般廃棄物事業協同組合 理事長 宮川 賢生
名古屋市一般廃棄物事業協同組合 事務局長 比護 満

令和6年度 愛知県産業資源循環協会 暴力対策協議会総会開催



一般社団法人愛知県産業資源循環協会 第13回通常総会、会長表彰終了後、同会場(ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋)において、令和6年度 愛知県産業資源循環協会暴力対策協議会(会長 永井良一氏)総会が501社(委任状357社を含む。)が出席して開催されました。

「令和6年度 愛知県産業資源循環協会暴力対策協議会 総会」が開催され、常務理事 伊藤泰雄氏が司会・進行を執り行い、総会の出席者数、委任状の提出社数の報告、及び開会の辞を述べました。

挨拶で会長 永井良一氏は、「愛知県産業資源循環協会暴力対策協議会の会長を務めさせていただいております、一般社団法人愛知県産業資源循環協会会長の永井良一でございます。総会の開催に当たりまして、ひとことご挨拶を申し上げます。

本日は、ご来賓として、大変お忙しい中、愛知県警察本部刑事部組織犯罪対策局捜査第四課暴力団対策室長の横山利行様、公益財団法人愛知県暴力追放運動推進センター 専務理事の館 喜代孝様、愛知県環境局資源循環推進課産業廃棄物適正処理推進室長の夏目享之様を始め、当協議会の顧問の皆様方にご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

います。また、後程、ご挨拶等をいただきますのでよろしくお願いいたします。

さて、企業活動からの反社会的勢力の排除につきましては、平成19年6月に政府の犯罪対策閣僚会議の幹事会の申し合わせとして、反社会的勢力による被害を防止するための5つの基本原則を掲げた「企業が反社会的勢力による被害を防止するための指針」が策定され、また、平成22年12月には、第16回犯罪対策閣僚会議におきまして、企業活動からの暴力団排除のため、政府として「関係業界に対する指針の更なる普及啓発」等の取組を行うこととされています。

一方、愛知県においては、平成23年4月1日に愛知県暴力団排除条例が施行され、その後、令和6年6月までに数度にわたり、同条例の一部が改正・施行され、その都度、規制強化されております。



愛知県警察本部
横山暴力団対策室長

愛知県暴力追放運動推
進センター 館専務理事

愛知県環境局
夏目室長

- 愛知県の条例は、愛知県から暴力団を排除するため、
- ・県、事業者、県民が果たすべき責務
 - ・暴力団の排除に関する基本的施策
 - ・暴力団の排除に関する禁止行為
 - ・暴力団排除特別区域における禁止行為

等について定めており、地域、職域において、住民や企業等が連携し、暴力団の不当、不法な要求を断固拒否するとともに、社会、経済などの各般の場から暴力団を排除し、彼らが社会に存在しえない状況を作り出すためのものです。

私ども産業廃棄物を取扱う業界でも、産業廃棄物処理委託契約書に、暴力団等を排除するための条項を盛り込むなど、反社会的勢力の封じ込めに積極的に努力するとともに、愛知県警察本部はもとより、公益財団法人愛知県暴力追放運動推進センターなどの関係団体の方々と連携を図りながら、会員の皆様のご協力を得て、事業を推進しております。

また、我々会員が、暴力団員からの不当な要求の被害に遭わないためには、暴力団の情勢や対処方法等を踏まえた上で組織的に対応することが重要であり、そのために各会員において、「不当要求防止責任者」を選任しておられると思いますが、まだ、選任されていない会員の方は、早急に不当要求防止責任者を選任していただき、所轄の警察署刑事課暴力担当係に不当要求防止責任者選任届をご持参して頂き、愛知県公安委員会からの開催通知に記載されている講習を受講していただくようお願いいたします。

最後になりますが、本日は、令和5年度事業報告及び令和6年度事業計画（案）の承認などについて、ご審議いただきますとともに、「暴力団を利用しない」、「暴力団を恐れない」、「暴力団に金を出さない」の暴力団追放三ない運動プラス1（ワン）「暴

力団と交際しない」を参加者全員で唱和していただき、認識を共有していただく総会であります。

それでは、よろしくご審議・ご協力をお願いいたしまして、簡単ですが、総会の開会に当たりましての私のご挨拶とさせていただきます。本日は、どうぞよろしくお願いいたします。」と述べました。

次に来賓の方の紹介がありました。

愛知県警察本部刑事部組織犯罪対策局捜査第四課暴力団対策室長 横山利行氏、公益財団法人愛知県暴力追放運動推進センター 専務理事 館 喜代孝氏、愛知県環境局資源循環推進課産業廃棄物適正処理推進室長 夏目享之氏、名古屋市環境局事業部廃棄物指導課長 河野友成氏、豊橋市環境部廃棄物対策課長 鈴木一弘氏、岡崎市環境部廃棄物対策課長 蜂須賀 功氏、一宮市環境部次長兼廃棄物指導課長 中村幸司氏、豊田市環境部廃棄物対策課長 青木 誠氏

代表して横山暴力団対策室長、館専務理事、夏目室長より来賓のご挨拶を賜りました。

議案審議は、議長に副会長 新美三良氏が選任され、議長が議事録署名人として議長の新美副会長、永井会長、理事 富田昭夫氏、理事 鬼頭秀幸氏を指名し、議案の審議が行われました。

- 第一号議案 令和5年度事業報告承認について
- 第二号議案 令和6年度事業計画（案）承認について
- 第三号議案 愛知県産業資源循環協会暴力対策協議会役員の見直しについて

議案審議は第一号議案、第二号議案は関連があるため一括して審議され、専務理事 小野俊之氏の説明後、賛成多数にて原案通り承認されました。

第三号議案については小野専務理事から説明があり、愛知県産業資源循環協会暴力対策協議会の役員は、愛知県産業資源循環協会の役員の選任に準じるとなっており、その名簿のとおりにしたいと説明し、賛成多数により承認されました。

決議文の唱和は伊藤泰雄^{ワン}常務理事の音頭の下、「暴力団追放三ない運動プラス1」の一斉唱和を行い、閉会の辞が述べられ終了しました。



総会の様子



来賓の皆様



伊藤常務理事による決議文唱和

正副支部長等会議開催

・日 時：令和6年5月10日（金）午後3時～

・場 所：名古屋マリOTTアソシアホテル
51階 ジュピター

・出席者：24名

※出席者は右の表を参照

■正副支部長等会議 議題

- 第13回通常総会及び愛知県産業資源循環協会暴力対策協議会総会のスケジュールについて
- 令和5年度各支部及び青年部・女性部事業報告並びに収支決算報告について
- 令和6年度不法投棄防止パトロール等の実施について
 - 令和6年度不法投棄防止パトロール等の計画
 - 令和6年度不法投棄防止パトロール調査報告書
- 令和6年度支部・青年部・女性部助成金について
- 令和6年度表彰について
 - 公益社団法人 全国産業資源循環連合会 会長表彰
 - 一般社団法人 愛知県産業資源循環協会 会長表彰
- 令和6年度支部・青年部・女性部の役員について
- 支部・青年部・女性部選出の令和6年度・7年度委員会委員について
- その他意見交換

<お願い>

令和6年度の各支部事業で法令講習会の開催をお願いした。



■支部・青年部・女性部 正副支部長会議出席一覧

●支部長・会長 ○副支部長・副会長

役 職	氏 名	会 社 名
会 長	永井 良一	永一産商（株）
副会長	中野 兼司	（株）東伸サービス
副会長	新美 三良	（有）三洋サービス
専務理事	堀部 隆司	（一社）愛知県産業資源循環協会
常務理事	伊藤 泰雄	（株）ダイセキ（欠）
常務理事	相木 徹	オオブユニティ（株）
名古屋支部	● 永井 弘児	永一産商（株）
	○ 山本 英之	明倫運輸（株）
	○ 浅井 明利	（有）浅井商店
尾張西支部	● 富田 昭夫	（株）富田商店
	○ 佐藤 智和	高和興業（株）（欠）
	○ 藤本 和也	（株）ワールド・クリーン
尾張北支部	● 南村 朋幸	大和エンタープライズ（株）（欠）
	○ 今村 昌根	（株）新栄重機
	○ 鈴木 隆真	（株）リョクリン（欠）
尾張南支部	● 金田 英和	サンコーリサイクル（株）
	○ 中嶋 久則	久栄運輸（株）
	○ 都筑 章	（株）野間砂鉱業所
西三河支部	● 石山 勝範	（株）エヌジェイエス
	○ 渥美 和男	（有）渥美商会
	○ 金井 邦剛	（株）ハヤブサ環境サービス
東三河支部	● 鬼頭 秀幸	（有）リサイクリング産業
	○ 清水 宏臣	（有）清水商店（欠）
	○ 酒井 正樹	（株）加藤解体工業
青年部	● 富田 康祐	（株）富田商店
	○ 遠山 大樹	（株）環境むかい
	○ 東久保翔平	（有）愛知環境センター
女性部	● 東久保真弓	（有）愛知環境センター
	○ 加藤 友美	（株）紙資源名古屋
	○ 橋本万里子	（有）伸和环境（欠）

令和6年度環境保全関係功労者表彰式で 伊藤泰雄常務理事が環境衛生事業功労者表彰を受賞



左から 愛知県知事 大村秀章氏、常務理事 伊藤泰雄氏（(株)ダイセキ）、愛知県議会議員 直江弘文氏

・日 時：令和6年6月10日（月）

午後1時30分

・場 所：愛知県庁本庁舎 6階 正庁
（名古屋市中区）

愛知県では、県民の環境保全意識の高揚を図り、快適な生活環境の保全に資することを目的として、県内の環境の保全に関し顕著な功績のあった団体・個人に対して、その功績をたたえ、平成元年度から毎年度、知事による表彰を行っています。

本年度は、2団体及び16名が表彰され、「環境の日」（6月5日）を節目と捉えて、令和6年6月10日（月）に表彰式が開催されました。

当協会からは、伊藤泰雄常務理事が「環境衛生事業功労」を受賞されました。

「環境衛生事業功労」は、長年にわたり環境衛生事業の推進に尽力し、顕著な功績をあげた個人に贈られます。

－受賞のことば－

この度、愛知県より「環境衛生事業功労者表彰」を受賞させていただき、誠に有難うございました。

自分自身、何か特別な事をやり遂げたという自覚はあまりありませんが、当業界において尽力してきた事が評価されたことを大変嬉しく、また誇らしく思っています。

当業界においては、カーボンニュートラルや、サーキュラーエコノミー等、時代の変化、また新たなニーズに対応しつつ、引き続き「安全」・「安心」を提供し続けなければなりません。

環境に対する意識の高まりとともに、当業界への期待は非常に大きなものとなっており、今以上に気を引き締めなければという思いにもなります。

また、近年では自然災害による甚大な被害に加え、その際に発生する多量の災害廃棄物の処理についても、協会員による協力のもと早期復興に向け対応しています。

今後も協会員とともに、業界発展に貢献するべく尽力して参りますので、引き続きのご指導賜りますようよろしくお願いいたします。

伊藤 泰雄（株式会社 ダイセキ）

令和6年度エコアクション21 認証取得セミナー開催

- ・日 時：令和6年5月14日（火）
午後1時30分
- ・場 所：協会3階会議室（名古屋市中区）
- ・参加者：20名（20社）

令和6年度エコアクション21認証取得セミナーを、愛知県及び名古屋商工会議所と共催し、愛知環境カウンセラー協会（エコアクション21地域事務局あいち）の協力を得て開催しました。

※以下、エコアクション21は「EA21」と表記



小野専務理事待遇

開会にあたり、専務理事待遇の小野俊之氏は、「今日は、産廃処理業者の方が多く受講されていますが、EA21の認証取得は「優良認定業者」の認定基準の一つです。認証取得後は、是非、「優良認定業者」を目指してください。EA21の取組により、経営者が、CO₂排出状況などの自社の姿を客観的に知ることができ、PDCAサイクルで改善を図る環境配慮の仕組みができます。認証取得がゴールではなく、その後も環境配慮の取組を継続されるようお願いします。」と述べました。

次に、講習カリキュラムの説明と担当審査員の紹介がありました。

（各審査員の氏名は下段写真に記載。）

全体説明はエコアクション21地域事務局あいち事務局責任者・審査員 石川 創氏から、EA21の



セミナーの様子

概要について、特色とメリット、認証取得・登録までの手順と費用について説明がありました。

EA21ガイドラインの要求事項の理解では、認証・登録範囲の決定や推進体制の構築、初期調査の実施（環境負荷・取組状況の把握評価）について話がありました。

その後、A～Dのグループに分かれ担当の審査員の指導の下、各社ごとの状況に合わせたセミナーとなりました。

最後に、次回準備するものなどの説明があり閉会となりました。



EA21 地域事務局あいち
石川審査員

セミナー予定表

第1回：5月14日（火）	午後1時30分～4時30分
第2回：6月 4日（火）	〃
第3回：6月25日（火）	〃
第4回：7月16日（火）	〃
補 講：打合せ後決定	

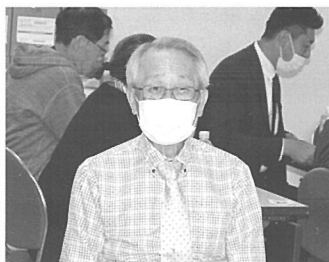
・時間を決めて1社毎に個別指導（1.5H/社）



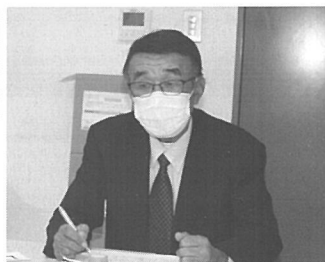
A グループ担当 小嶋正之審査員



B グループ担当 吉田文武審査員



C グループ担当 梶田弘一審査員



D グループ担当 松永幹生審査員

豊川市制施行81周年記念表彰式

- ・日 時：令和6年6月3日（月）午前11時
- ・場 所：豊川市役所
本31会議室（本庁舎3階）

次 第

- 1 開式の言葉
- 2 市長あいさつ（竹本幸夫市長）
- 3 市政功労表彰
- 4 一般表彰
- 5 感謝状贈呈
- 6 来賓祝辞（柴田輝明市議会議員）
- 7 閉式の言葉

豊川市は、昭和18年6月1日に3町1村が合併して市制を施行後、毎年市制記念日に市政の発展や住民福祉の向上に功績があった方を表彰しています。

今年は、市制施行81周年にあたり、市政功労表彰2名、一般表彰37名（市職員等を除く）・11団体、感謝状40名・37団体が表彰されました。

当協会は、令和5年6月大雨災害の応急復旧に貢献した功績により感謝状を受賞しました。

当日は、代表者として、（一社）愛知県産業資源循環協会副会長 中野兼司氏（（株）東伸サービス代表取締役）が出席されました。



左から 竹本市長、中野副会長



式典の様子

令和6年度中部四県産業廃棄物不法処理防止 連絡協議会合同会議報告

令和6年5月9日（木）午後2時より、静岡県静岡市葵区のグランディエール プケトーカイにおいて、令和6年度中部四県産業廃棄物不法処理防止連絡協議会合同会議が開催され、中部四県（岐阜、静岡、愛知、三重）の協会の会長等役員、環境省中部地方環境事務所、中部管区管内の海上保安本部関係者、中部四県の各県・政令市等の担当者49名が出席し、産業廃棄物の不法処理事例の現状と対策について意見交換を行いました。

会議では環境省中部地方環境事務所を始め海上保安庁並びに各県・政令市等から産業廃棄物の不法処理事例の現状と対策について説明があり、不法投棄件数、投棄量の推移、不法処理事案の報告や監視指導体制の強化として委託業者による休日・夜間の監視、カメラによる監視、ヘリコプターによるスカイパトロールやドローンによる監視、中部地方環境事務所・岐阜県・愛知県・三重県・名古屋市及び警察の三県等合同による路上検査の実施等の報告がありました。

意見交換では、静岡県くらし・環境部環境局廃棄物リサイクル課から令和3年7月3日に梅雨前線に伴い発生した熱海市伊豆山土石流災害について、土

石流の起点となった平成25年当時までの盛土造成（がれき類の不適正処理）に至るまでの前土地の所有者（A社）と現土地の所有者（C者）の事案概要について説明があり、A社及びC者へのがれき類の撤去指導と並行して関係者への各種調査を実施した客観的事実の認定資料の不足からA社を排出事業者と断定できなかったこと。また、がれき類の撤去に向けた静岡県の対応としてC者に不適正処理行為の是正を根拠に撤去指導を継続中に令和3年7月の土石流災害が発生した。発災後のC者への指導により令和6年1月15日からがれき類の撤去作業が開始され、7月下旬頃までに整地事業が終了するとの説明に対して、活発な意見交換が行われました。



■出席者名簿（順不同）

環境省中部地方環境事務所資源循環課 主席廃棄物対策等調査官 水谷 宏忠	四日市海上保安部警備救難課 警備救難係長 大賀 海
第四管区海上保安本部警備救難部刑事課 捜査管理官 浦 拓哉 第二捜査係 山本 陵生	三重県環境生活部環境共生局 廃棄物監視・指導課 主査 藤崎 裕道 係長 加納 久義
岐阜県環境生活部廃棄物対策課 課長補佐兼監視指導係長 大森健太郎	(一社)三重県産業廃棄物協会 会長 堀川 勉良 副会長 筒井 照雄 専務理事 和田 一人
岐阜市環境部産業廃棄物指導課 技術主査 古田 博勅 副主査 稲垣 智彦 主任 長屋 貴士 会長 澤田 裕二 専務理事 大坪 敬明 専門官 藤森 岳彦	理事・総務委員長 光友 裕昭 事務局長 平見 元通
(一社)岐阜県産業環境保全協会	第三管区海上保安本部警備救難部刑事課 第二捜査係長 西川 朋美
名古屋海上保安部警備救難課 愛知県環境局資源循環推進課 産業廃棄物適正処理推進室 室長 夏目 享之 主査 西森 友昭	清水海上保安部警備救難課 警備対策調査官 酒井 朋則 鑑識官 阿部 和真
名古屋市環境局事業部廃棄物指導課 課長補佐(産業廃棄物指導担当) 長谷川 宏樹	静岡県くらし・環境部環境局 廃棄物リサイクル課 課長 西尾 清仁 班長 久保山 成基 主査 佐野 悠祐
豊橋市環境部廃棄物対策課 主査 松井 宏文	静岡市環境局廃棄物対策課 参事兼課長補佐 和田 裕久
岡崎市環境部廃棄物対策課 事務員 橋本 宙	主査 清水 萌
一宮市環境部廃棄物対策課 課長補佐 北原 篤史	浜松市環境部産業廃棄物対策課 副技監 落合 輝
豊田市環境部廃棄物対策課 担当長 石田 尚志	主任 中津川 広樹
(一社)愛知県建設業協会 上席 土田 浩通	(公社)静岡県産業廃棄物協会 会長 岩間 雄一
(一社)愛知県産業廃棄物資源循環協会 会長 永井 良一	副会長 新井 康久
副会長 中野 兼司	副会長 海野 ひろみ
専務理事 堀部 隆司	理事・適正処理委員長 白井 浩行
専務理事待遇 小野 俊之	専務理事 松浦 敏明
事務局長 小坂 元信	事務局長補佐 瀬崎 秀五

2024年度暴力追放セミナー報告

暴力団員の不当な行為による被害を未然に防止し、愛知県民の暴力団排除意識の一層の高揚を図るため、行政機関、企業、団体や地域・職域の暴力団排除組織の会員をはじめ、暴力追放推進委員、愛知県暴力追放運動推進センターの賛助会員等を対象に、令和6年7月4日（木）午後1時00分から日本特殊陶業市民会館フォレストホール（名古屋市中区金山）において、主催（公財）愛知県暴力追放運動推進センター、後援愛知県警察本部・愛知県弁護士会による「2024年度暴力追放セミナー」が開催され、当協会からは、支部役員等45人が参加しました。



セミナーは（公財）愛知県暴力追放運動推進センター専務理事館喜代孝氏の開会の言葉があり、今年で設立32周年を迎える同センターの沿革と活動内容の紹介がありました。

第一部の基調講演は「暴力団情勢と暴力団排除対策について」と題し、講師として愛知県警察本部刑事部組織犯罪対策局長金田力氏から講演がありました。

まず始めに、愛知県警の令和6年警察運営の基本目標『「安心」して暮らせる「安全」な愛知の確立』の重要課題として、（1）暴力団の壊滅、（2）交通死亡事故の抑止、（3）県民の身近で発生する犯罪への的確な対応の3つについて説明がありました。

（1）暴力団の壊滅では、昨年の実績として暴力団対策法・暴力団排除条例の効果的な運用で弘道会傘下組織幹部らによる特殊詐欺事件について、愛知県暴力追放運動推進センター、民事介入暴力対策委員会所属の弁護士と連携し、暴力団対策法に基づく被害者訴訟支援を実施し、六代目山口組組長らから和解金を獲得した事例の説明がありました。また、瀬戸市内で六代目山口組傘下組長らによる高圧

ガス保安法違反事件の検挙や六代目山口組傘下組関係者による労働者派遣法違反事件の検挙等により愛知県内の暴力団員は令和4年に比べ120人減少の830人になったと説明がありました。

（2）の交通死亡事故の抑止は、愛知県の交通事故死亡者数は、令和5年は145人と前年比8人の増加でしたが昨年と同様で大阪に次いで2位であり、減少傾向の定着を図ることができるよう、業務重点として ①交通事故に直結する違反の取り締まり強化 ②歩行者保護をはじめとした交通安全意識の更なる定着 ③高齢者、子供等の交通弱者に配慮した交通規制の実施に取り組んでいくと説明がありました。

（3）県民の身近で発生する犯罪への的確な対応では、業務重点として ①特殊詐欺、サイバー犯罪等の社会情勢の変化を反映した犯罪の予防・検挙 ②多発する侵入盗、自動車盗等の予防・検挙 ③ストーカー、DV、児童虐待等の人身安全対策事案への迅速的確な対応の実施に取り組んでいくと説明がありました。

特別講演は「見えない暴力団の資金源活動と人材獲得活動」と題して弁護士の宇都木寧氏から愛知県内の暴力団の活動傾向は山口組弘道会の一極支配体制となっており、外部から暴力団の活動が見えにくくなっている中で、最新の暴力団の分析情報による資金源、人材獲得源、活動実態と対策について説明がありました。

第二部では、～寸劇を通して学ぶ闇バイトの実態と少年の加入阻止対策～（出演：笑劇派）が演じられ、寸劇を題材にパネルディスカッションが行われました。

コーディネータは愛知県弁護士会民事介入暴力対策委員会委員弁護士三宅結花氏、パネラーは、愛知県警察本部刑事部第四課暴力団対策室長横山利行氏、愛知県弁護士会民事介入暴力対策委員会委員長弁護士平田浩一氏、愛知県少年指導委員連絡協議会会長菱田雅之氏、愛知少年院統括専門官若松正義氏、瀬戸少年院主席専門官押越真人氏、豊ヶ丘学園統括専門官清水康裕氏をお迎えして行われました。

「アトラクション」は、愛知県警察音楽隊によるバトントワリングとマーチングバンドの演奏があり、セミナーは終了しました。

名古屋支部

5月30日 エフエム愛知から
ごみゼロ（530）推進の啓発活動

収録中の永井支部長（左）と高橋萌パーソナリティー（右）

名古屋支部（永井弘児支部長）では、5月30日「ごみゼロの日」に、マスメディアを活用し不法投棄防止啓発のメッセージを発信しました。

ここ数年はラジオ放送にてメッセージを送らせていただいております、今年は（株）FM愛知「DAYDREAM MAGIC」の中で、永井支部長とパーソナリティーの高橋萌氏が不法投棄防止に向けての活動を紹介しました。

放送日は5月30日午後2時頃ですが、今回は5月29日（水）にFM愛知のスタジオにて収録が行われました。

収録前の打ち合わせでは、FM愛知のビジネスプロデュース部副部長の杉原宗二郎氏に、（一社）愛知県産業資源循環協会（以下「愛産協」という。）の概要、活動等について永井支部長が説明しました。

その後、原稿内容の確認等が行われスタジオに入り、高橋パーソナリティーと読み合わせが始まりました。始めは緊張気味の永井支部長でしたが、収録がスタートした途端いつも通りになられ、愛産協発



FM愛知 80.7MHz（豊橋 81.3MHz）

「DAYDREAM MAGIC」内で放送



緊張が解け、にこやかな収録後の様子

足の経緯、3R、適正処理の推進、これからの環境社会の成熟に向けての取組等について話しました。

また、名古屋市とともに地元住民を交え、令和4年度、5年度の災害廃棄物仮置場設置・運営訓練の実施事例や、環境省・愛知県・名古屋市との藤前干潟不法投棄ごみ撤去作業（平成27年より実施）についても話しました。

他には、法令講習会、施設見学会による会員の意識啓発を図る事業の開催、SDGsへの取組や環境教育が行われていることを伝え、最後に永井支部長は「私たちは関係行政機関、排出事業者、市民の皆様の協力を得て、環境保全に全力をあげて取り組んでいます。是非、一緒に産業廃棄物の不法投棄防止の取組にご協力をお願いします。」と締めました。

ラジオによる啓発活動は、昨年に引き続き平野範之会計（フルハシEPO（株））が放送局との折衝にご尽力いただき、一般の方にも名古屋支部の活動を知っていただける良い機会となりました。



収録前の打ち合わせ風景

左から 豊田経済新聞編集長 小笠原禎志氏、（株）エフエム愛知ビジネスプロデュース部副部長 杉原宗二郎氏、名古屋支部支部長 永井弘児氏、同支部副支部長 浅井 明利氏、同支部会計 平野範之氏



収録後の記念撮影 左から 平野会計、高橋パーソナリティー、永井支部長、浅井副支部長

尾張西支部

令和6年度 不法投棄防止パトロール報告

◆開催日：令和6年6月 各地区の日程で調査を実施

◆パトロール地区：6地区

あま・大治地区、一宮地区、稲沢地区、清須・北名古屋地区、津島・愛西・蟹江地区、
弥富・飛鳥地区

◆不法投棄防止パトロールを実施

尾張西支部では支部内を6地区に分け、会員の方々がパトロールを行いました。今回、パトロール中に不法投棄廃棄物を発見できなかった地区がありました。一事例ですが、長年実施してきた支部事業のパトロールが不法投棄の抑止力となり、管轄地域の環境保全に貢献できたことを実感できました。

パトロール参加の会員の方々（一部の方）
左から2人目の方が富田昭夫支部長清洲・北名古屋地区 / 廃タイヤ / 約 0.5m³

あま・大治地区 / 敷地内に廃棄物が山積み / 莫大な量

一宮地区 / 混合廃棄物（家電、廃プラ他） / 約 15m³稲沢地区 / 家電、粗大ごみ / 200m³津島・愛西・蟹江地区 / 家庭ごみ、家電他 / 約 6m³

尾張北支部

令和6年度 不法投棄防止パトロール報告会開催

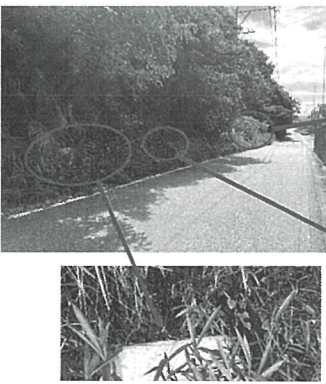
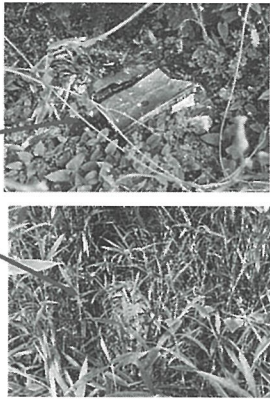
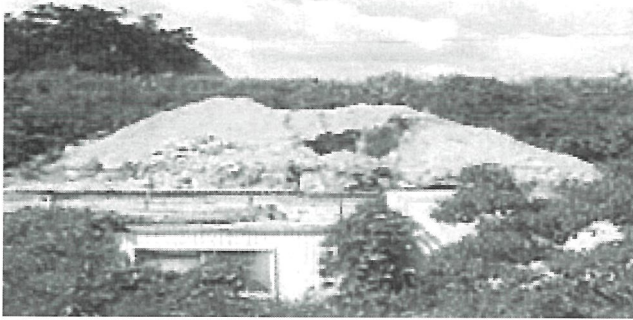
◆開催日：令和5年6月19日 ◆開催場所：グリーンパレス春日井 会議室103

◆パトロール参加企業：7社

大和エンタープライズ（株）、（株）東伸サービス、（株）リョクリン、誠美社工業（株）、（株）相建、フジ建設（株）、東海清掃（株）（報告会発表順）

◆不法投棄防止パトロール報告会

報告会は田辺徹委員が司会進行を担当され、開会の辞を鈴木隆真副支部長が述べました。開会の挨拶で、南村朋幸支部長から不法投棄防止パトロールの概要と、協力された会員の方々にお礼が述べられました。その後、各社から報告があり、尾張県民事務所廃棄物対策課課長補佐 北川泰久氏より、尾張北支部管内での不法投棄の現状について、また、長年にわたる不法投棄防止パトロールに対して感謝の言葉がありました。

江南市松竹町付近 / プスチック製品、紙くず / 0.3m³ 2022 年  2024 年 	日進市米野木付近 / 洗濯機、家庭ごみ / 軽トラに乗る程度 
日進市岩崎町付近 / 圧縮された布団、タイヤ他 / 数量不明  	瀬戸市鹿乗町付近 / 廃プラ他 / 約1m³ 
長久手長付付近 / 大半がコンガラ / 数量不明 	瀬戸市西原町付近 / 昨年は一般廃棄物 0.3m³、今年は処理されていました。 2023 年  2024 年 

尾張南支部

令和6年度 不法投棄防止パトロール調査報告

◆開催日：令和6年6月 各社の日程で調査を実施

◆パトロール参加企業：12社

オオブユニティ（株）、（株）知多環境保全センター、（株）野間砂鉱業所、インセント（株）、協材砕石（株）、久栄運輸（株）、
豊田ケミカルエンジニアリング（株）、（株）日誠、（株）上野清掃社、（株）エイゼン、サンコーリサイクル（株）、（株）テクア

◆不法投棄防止パトロールを実施

尾張南支部ではこれまで知多半田駅にて行政と協力して、一般の方に向けた不法投棄防止の啓発活動を支部会員が行っていました。コロナ禍において対面の事業活動が見合わせられるようになりましたが、新型コロナウイルス感染症への対応が緩和されたことから、本年度より支部管区内をパトロールして不法投棄されているかどうか調査を行い報告書を作成しました。

知多郡美浜町付近 / テレビ2台、クッション1個、発泡スチロール箱1個



半田市州の崎町付近 / 自転車1台



知多郡阿久比町付近 / 軽自動車ボディ、シート、タイヤ、雨どい、他大型車1車分程度の量



半田市東億田町付近 / タイヤ5本



半田市亀崎市新田町付近 / ペットボトル等



知多市日長インター付近 / ベビーカー、絨毯、買い物かご、他大量



西三河支部

令和6年度 不法投棄防止パトロール・報告会

◆開催日：令和6年5月～6月 各社の日程で調査を実施（不法投棄量の数値は各社の報告書の記載に準ずる）

◆パトロール参加企業：6社

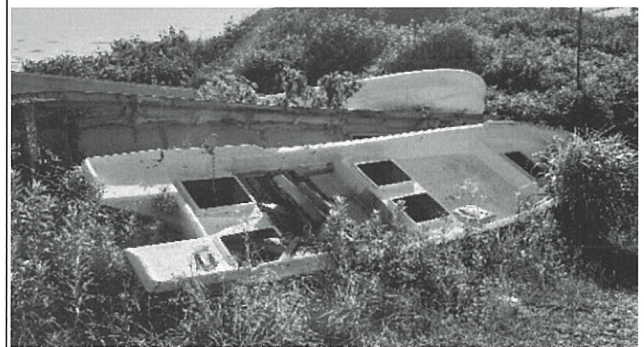
（株）ハヤブサ環境サービス、岡崎技研（株）、サンエイ（株）、（有）花丘商事、中部保全（株）、（株）大同建設工業「不法投棄パトロール中 愛知県産業資源循環協会」と表記したステッカーを作成し、本年度より巡回車の側面に貼ってパトロールをしました。不法投棄の抑止力として貢献できればと思い実施しました。

◆不法投棄防止パトロール報告会：令和6年6月26日（水）午後5時「Rhino」13名出席

（株）ハヤブサ環境サービス：4名の社員が調査
岡崎市中伊町付近 / 一斗缶他 / 4m³ ほど



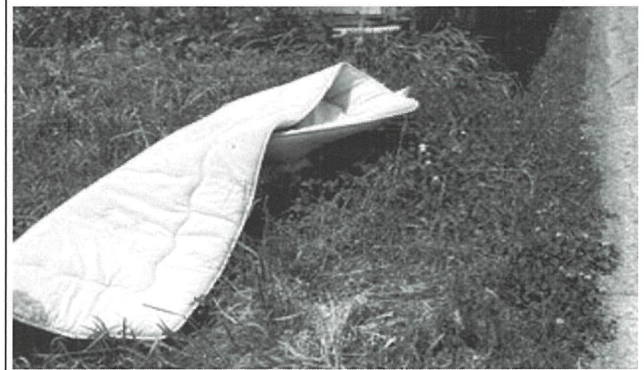
岡崎技研（株）：調査
安城市桜井町付近 / ボート、汚泥他 / 数量不明



サンエイ（株）：32名の社員が調査
社屋周辺 / テレビ、ペットボトル他 / 160kg



（有）花丘商事：調査
豊田市上挙母町付近 / 布団、ごみ他 / 数量は写真参照



中部保全（株）：調査
西尾市吉良町地内 / タイヤ、廃家電他 / 20～30m³



（株）大同建設工業：3名の社員が調査
安城市高棚町内 / 冷蔵庫2、金庫1、ごみ2m³



東三河支部

令和6年度 不法投棄防止パトロール・報告会

実施日：令和6年6月18日（火）

◆パトロール

産業廃棄物処理業者として、廃棄物の排出を抑制し廃棄物の適正処理の推進を図るため、不法投棄防止パトロールを実施しました。

・午前8：45～12：00 15社参加

(有)リサイクリング産業、(有)清水商店、(有)松井工業、サーラ物流(株)、(株)加藤解体工業、成和环境(株)、(株)MARUKO、加山興業(株)、(株)イモト、(株)加藤土木解体、壽鉦業(株)、(株)ビソー環境、(株)マルサワ、(株)環境むかい

班	パトロール範囲	氏 名
A	豊橋市内（国道1号北側）	宮澤 井本 鬼頭
B	豊橋市内（国道1号南側）	洪本 松井
C	豊橋市内・田原市内（神野新田～田原市内）	萩原 加藤 伊藤
D	蒲郡市内・御津地区	金海 清水
E	新城市内・設楽町内	遠山 柏原
F	豊川市内（御津地区除く）	小島 酒井

◆行政懇談会

・午後2：30～3：30 豊橋商工会議所 402号室

合計21名

東三河支部役員14名、東三河総局県民環境部環境保全課3名、東三河総局新城設楽振興事務所環境保全課2名、豊橋市環境部廃棄物対策課2名

① 豊橋市石巻町付近 / 建設廃材、農機具等 / 20m³② 豊橋市若松町付近 / 瓦、ガラ陶 / 瓦 10m³、ガラ陶 5m³

③ 田原市石神町付近 / 生活ごみ / 数量不明



④ 蒲郡市金平町付近 / 廃プラ、木くず / フレコン 30個ほど



⑤ 豊根村付近 / 廃家電、缶、びん、可燃ごみ / 数 10 点



⑥ 豊川市平尾付近 / ブロック、レンガ等 / 数量不明

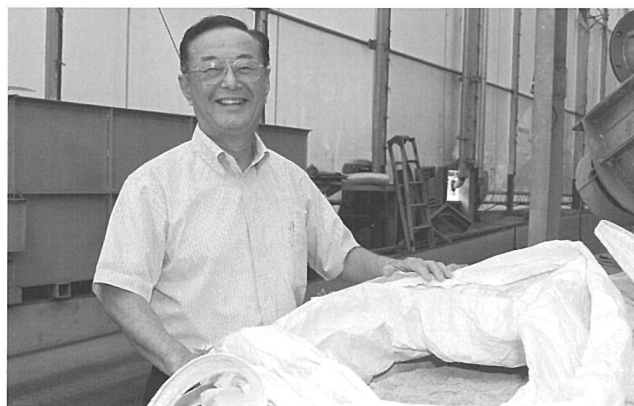


企業訪問 資源循環レポート

有限会社メイコウ工業



廃石膏ボードのリサイクルに特化 一 永石膏のままでも有効利用 CO₂削減に大きく貢献



固化材を前に話をされる篠原社長

今号では、有限会社メイコウ工業（西三河支部）の代表取締役 篠原秀則氏に廃石膏ボードの100%リサイクルについてお話を伺いました。

■会社概要

法人設立は平成17年11月

事業内容は、建設廃棄物中間処理（廃石膏ボード専用リサイクル）・収集運搬、建造物解体工事、固化材製造販売

同社製品は「あいくる材」認定資材になっています。

3R（Reduce・Reuse・Recycle）を理念にリサイクルエコロジー企業として、常に新しいことに挑戦し続けています。

■社風が

元々は、同社の会長様が大手化学関連企業勤務のご出身であり、工学博士だったことから、工業系大学と連携していろいろな実験を重ね、製品開発を行っていた土壌があったとのこと。

また、篠原社長自身は大手自動車会社のご出身で、ものづくりに長け、研究熱心なこと等々から、低コスト、高性能なものづくりへのこだわりと粘り強さが社内に浸透していました。

■固化材製造から再利用まで

年々増加の一途を辿る廃石膏ボード。有効利用す



有限会社メイコウ工業

■代表者／代表取締役 篠原 秀則

■所在地／愛知県みよし市明知町八和田山2番地17

TEL 0561-33-2526 FAX 0561-34-3250

るため、地盤改良用の固化材原料に着目し、使用用途開発・製品開発には、専門研究機関及び関連のある教育機関等の協力を得て開発を進めています。

搬入された廃石膏ボードは受入ヤードに運び込まれ、破碎機にて破碎されたのち、磁選機にて異物を除きます。この破碎、分別、磁選機による選別を数回繰り返し、さらに目視確認を行います。

本来、受入時に廃石膏ボードに異物は除かれて搬入されるのですが、石膏ボードに埋め込まれている金属類が見つかることもあるため、同社では入念な選別を実施しています。

廃石膏ボードの再生利用は大きく分けて、「紙」と「石膏粉末」になります。

「紙」は、古紙原料、RPF燃料温度調節、透水性アスファルト添加剤、建築資材原料へ、「石膏粉末」は、石膏ボード、セメント原料、肥料原料、固化材（地盤改良材原料、土壌改良材原料、汚泥固化材原料）へと生まれ変わります。

また、各現場の土に合わせて固化材の配合は基本16種類ありますので配合が可能です。全て自社生産の再生材と製造技術を駆使して大幅なコスト削減を実現させています。

工場内は全てシステム化され、作業に当たるのは少人数で運営をしています。

■二水石膏のままだからこそ

廃石膏ボードの石膏は、2分子の水を結晶水として保持する「二水石膏」であり、これを焼成して半

水石膏や無水石膏にすることにより、固化剤としての効果は上がります。

しかしながら、焼成には燃料のコストが生じますし、CO₂が排出されてしまいます。

そこで、同社では環境負荷を低減し持続可能社会に貢献するため、あえて二水石膏のまま固化剤としてリサイクルしています。

ご苦労されたことは、少数精鋭での運営につき篠原社長自身が足を運ぶ営業をされ、何度か訪問するうちに、製品開発の姿勢に信頼をしていただけたそうです。

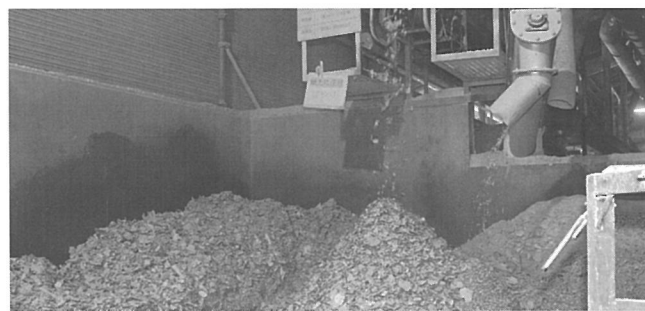
固化材といっても奥が深く、その都度お客様の要望や問題点を解決するため、多くの機関、また多くの方の知恵をお借りし、多種多様な工業薬品で試験を繰り返し行い、一流メーカー品に引けを取らない良品質で低価格品を今後も作り続けていかれるとのことでした。



(有) メイコウ工業
ホームページサイト



室外の集塵機



破碎分別された紙



固化材製造装置



固化材のトンバッグ詰め



篠原社長（左から3人目）と社員の皆様（一部の方）

集え、仲間と
伝えよ、想いを
さらなる高みを目指して
進め女性部



女性部会長 東久保真弓氏



女性部副会長 加藤友美氏



女性部会計 永井 愛氏



愛産協副会長・広報編集委員長
中野兼司氏

日 時：令和6年4月8日（月）

場 所：協会3階会議室

出席者：4名

愛産協 中野兼司副会長（司会）

女性部 東久保真弓会長、加藤友美副会長、
永井 愛会計

中野

令和元年9月5日に女性部の設立総会が開催され今年で5年目を迎えました。愛知県の女性部が設立されて以降、女性部の動きが活発化し全国的に女性部設立の波が広がりました。

そこで5年目の節目として、今一度初心に帰り、未来に向けて何を成すべきかについて、お話しいたいと思います。

では、始めに立ち上げ時におけるエピソードなどありましたらお話しください。

東久保

女性部立ち上げの経緯については、「循環あいち」117号で女性部の想いについて話をしましたが、今思えば、設立される1年半ほど前から私は動き出していたような気がします。

発端は平成30年6月（公社）全国産業資源循環連合会の定時総会で、（一社）東京都産業資源循環協会・女性部『e-Lady21』会長 二木玲子氏と初めて話をさせていただき、東京に女性部があることを知りました。

それを機に、二木会長と連絡を取り合い、同年11月関東地域協議会女性部会主催の女性部の会に参加しました。

対 談

愛知県からの参加は私一人でしたが、その集まりで他県女性部の方々から、愛知県女性部設立を期待される声をいただき、全国レベルで女性部発足の気運が高まっていることを実感しました。

中野

最初の女性部の立ち上げの発起人となることについては、どんな思いがありましたか？

東久保

関東地域協議会の女性部へ伺った流れから、愛知県でも女性部を設立しなくてはいけない、と感じました。愛知県がすごく遅れている（女性部設立への意識）と思ったので。

初めてお目にかかった関東の女性部の方たちは皆様とても元気でした。会話が楽しく、充実した内容でとても刺激を受け、その意識の高さを学ぶためにも、愛知県にも女性部を作らなくてはいけないという使命感に駆られました。

私がここに来た理由は、このことだったんだと、大袈裟かも知れませんが雷に打たれたような衝撃を受けました。

入会者は新年交礼会で女性に名刺を配り勧誘をしましたが手応えはありませんでした。その後、事務局で応募の告知をしていただき当初は15名の入会者が集まりました。

中野

会員集めにご苦労されましたが、女性部設立への思いが強かったのですね。

東久保

はい、皆様のご協力と応援のおかげで、令和元年9月に女性部の設立総会を迎えることができ、本当に感無量でした。

中野

女性部立ち上げ後、皆様はどのように活動されましたか？

加藤

何を活動していいのか、1週間に1度くらいのペースで役員の方と会い、事業の内容、方向性などの話し合いを行っていました。

東久保

そうしたら、新型コロナウイルス感染症が流行し

て、対面の事業活動が感染拡大防止のため次々と中止になってしまいました。

社会全体が暗くなってしまった時期ですが、インターネットを活用したWeb会議が着目され、女性部もWebを活用して、少しずつですが事業を再開しました。利点としては、Web会議であれば、対面と異なり職場からでも事業に参加でき、画面を通して初めての方とも、顔合わせをする楽しみがありました。今では、Webを効率的に活用する良い機会だったと言えます。

中野

手探りとはいえコロナ禍にも屈せず、順調に進み良かったですね。

ところで、男性社会の業界で活動するという不安はなかったですか？

永井

私は女性部に参加するまでは、社内での活動のみでした。同業者の方との接点とか、組合の集まりへの参加がゼロだったので、女性部への参加は興味津々で、ようやくちょっと外の方とのつながりが持てるようになりました。

設立年度は一般の会員での参加でしたが、前任の会計の方が退会されましたので、役を引き継ぎました。

初年度の活動の中で役員の皆様がとても仲良く楽しそうで、なんだかキラキラしながら活動されているのを拝見して、そのお手伝いができるんだったらやってみたいというのが本音です。

中野

それは、役員会の雰囲気が溶け込みやすかったのと同時に、やはり東久保会長の思いが伝わったからだと思います。

東久保

そうであれば、うれしいです。

加藤

女性部の会員さんは職業上、境遇、環境が似ていることから悩みも似たところがあります。事業開催の合間のちょっとしたおしゃべりで、共感できることが多々あります。ささいなことですが、話を聞いてもらえるだけでストレスが発散でき、分かっていただけの方がいるっていうだけで安心されます。会

対 談

員の中には、そういう場を求めて参加される方もいらっしゃるのでは、と感じました。

東久保

中には、会員になられても立場上の理由から、事業への参加が難しい方もいます。新年交礼会で初めて会った方がいましたが、その折にいろいろお話ができ、次回からは参加をしてくださると元気に帰られました。ただ、参加されない方も多いため、一歩踏み出し参加していただければ、必ず共通の悩みがありますので思いを共有してほしいです。

皆様キラキラして帰っていかれるのは事実です。

加藤

本当ですね。

中野

それは、先ほどの溶け込みやすさというものですか？

東久保

それもあるかもしれませんが、女性が働くうえでの仕事の悩みは聞かなくても、ただただ大変なのはお互いに分かっています。女性従業員の方、さらに経営者・役員の方が多いので、その環境においての葛藤、問題意識の共感が多いです。同じ業界だからこそすぐに心を許せ、苦しみも一緒なので連帯感につながるような気がします。

やはり女性が働いていくのは大変です。

加藤

それも全てひっくるめて稼業を続け、妻であり、女性であり、母であり、今なんておばあちゃんの役もやらなくてははいけません。子育て世代の方は子育てしながら仕事をやっていく。どのように効率よくこなしていけばいいのか、現状を乗り越えるためのヒントになる話を会員同士でできます。

大前提は働く、ということなので、その中でこの業界の女性が集まっているんなコミュニティで話をする、活躍の場を広げていける機会としてほしいと思い

ます。

永井

一回参加していただいたり、お会いして話をすると、ちょっと入会してみようかなという声はいただけるので、最初の一歩がなかなか難しいと感じます。

東久保

そのため、女性部員じゃない方も参加できるようオブザーバー参加の事業を開催し、間口を広げる工夫をしています。

また、入会後も会員様の状況により対応もしています。本年の総会時のことですが、出産のため一時休会されていた方が赤ちゃん連れで参加していただき、皆様すごく感激されて、女性部ならではのエピソードです。

中野

いろいろお話いただきありがとうございます。

実はこの愛知県協会の中に女性部が設立されたことは、とても意義があり、対外的にも信用度が全く違うんですよ。今後その部分について東久保会長はどう



左から 永井会計、加藤副会長、中野副会長、東久保会長

思いますか？

東久保

愛知県協会は永井良一会長をはじめとした理事の方々から、女性部の活動に対してご理解をいただき、頑張ってくださいね、と応援していただいております。

しかし、いま全国での女性部設置に向けて、私たちが勉強しているのはハラスメントなんです。意識の統一を図る上でも、全国の女性部はハラスメントについて一から学んでいます。その学びは私たち女性自身も固定観念を払拭でき、業務に活かせる、社会活動への意義や意識の向上につながります。

愛知県協会では数年前より青年部の事業に参加させていただき、ジェンダーの意識無く、同じ業界内で活動する者同士という感覚で、各部の活性化を

対 談

図っています。何より多くの仲間でスポーツをする
と心の底から笑って楽しめます。

中野

本当ですね。

では、女性部の今後に期待すること、提言されたいことについてお話しください。

東久保

いろいろ考えたのですが、提言というより、愛知県女性部の特化した事業の展開を考えています。

例えば、愛知県が得意とする内容の講演、啓発活動など、全国的に周知できる特色が持てれば、という内容を構想しています。

加藤

私は女性部をアピールして、業界のイメージアップにつなげていきたいという思いがあります。

女性部に入り業界に早く馴染んでもらえるような役割を担い、女性が働きやすい業界として社会的に浸透してほしいと思います。

永井

大きい方向性っていうのは、なかなか思いつかないのですが、例えば弊社の事例をあげれば、女性の就業人数は少ないと感じています。

女性ドライバーを増やしたいと思っていても、社内ですら1～2名という状況から、少し寂しさを感じるかもしれません。

そのような意味合いから、業界の中で同じような環境の方々のコミュニティの場（女性部が担う）があれば、共感できる仲間ができ心強く感じてもらえると思います。

それにより就業の継続につながり、業界全体の活性化につながると思います。

中野

参加しやすい環境を作っていくことですね。

とても大切なことだと思います。

実は、内閣府男女共同参画局「令和3年度女性役員への登用に関する課題と取組事例」のメリットに、女性役員のいる企業のパフォーマンスは高い傾向にある、と記載されています。また、「女性活躍推進の経営効果について」（平成24年作成）の資料に、世界では女性役員比率が高い企業の方が、RO

E（Return on Equity：自己資本利益率）、RO S（Return on Sales：売上高利益率）、RO I C（Return on Invested Capital：投下資本利益率）などの経営指標が良い傾向にある、と記載されています。このような傾向についてどう思われますか？

東久保

女性役員の登用は良い傾向だと思いますが、日本では少ないようです。女性が決まった職種だけではなくて、弊社では、管理職、事務職、現場、と多くの部署で女性が活躍しています。男性と女性はものの捉え方や思考性の違いはあるかもしれませんが、それぞれの得意分野を生かしていけばと思います。ただ、現時点において売上の上昇につながっているかどうかの検証はしていませんが、弊社の社長は女性従業員の育成に注力しています。

加藤

弊社の女性の管理職は、男性とは違う目線で仕事をします。女性は細かすぎるのか、という部分もあり、それが良いのか、悪いのか、とは思いますが、男性とは違う目線を生かした働き方ができると思います。

永井

うちの会社は新卒採用をしていますが、来られる学生さんは、圧倒的に女性の方がしっかりしています。男性の方は少しおっとりした雰囲気を感じる方もいらっしゃいますが、実際入社されて役職に就いていく方は、圧倒的に男性の方が多いです。

結局それは、会社や組織の中で女性が活躍できる環境が整備されてないところが大きいのではないかと思います。

就職後の結婚・育児、親の介護などいろいろな場面において、女性が一歩引かなくてはいけない場合が、まだまだ多いのではないかと思います。

それに対して、女性の雇用に対して前向きな取組や環境整備ができている企業は、女性役員が多い傾向にあるようで、売上が上がる理論はすごくわかります。そういう場を提供できる組織でありたいと思います。

中野

女性の社会進出に関してとても参考になるお話を聞かせていただき、ありがとうございます。

対 談

他には、女性部として運営等に関して気づかれたこと、要望などありますか？愛産協に対してでも結構です。

ちなみに私は、ペーパーレス化を推進しています。

永井

私は事業の開催日を決める際、会議室の予約をWeb予約ができると便利であると思います。

さらに、使用備品の選択や日程変更時等のオプション機能もあれば便利です。そうすれば事務局へ電話をして、事務の方に手間をかけることなく予約ができると思ったことがあります。

中野

それは便利ですね。

今後、女性目線で気づかれた、これまでの盲点を洗い出せればと考えています。

東久保

今のご意見、一度会員の皆様に投げかけてみます。

中野

女性部からの提案で改善され、効率化した事案が多いと、女性ならではの着眼点による業務の改革となります。実績が積み重なることにより、周りから女性部に対する評価の価値がさらに上がっていくと思います。

では、最後に一言ずつお伺いします。

永井

今は東久保会長が引っ張ってくれています。東久保会長の熱量がすごく、気づけば愛知県だけではなく、全国へ、中部四県の会長となられ、益々活動範囲が広がっています。

この先、と言われたとき、活動を引き継いでいいのかという不安はあります。他の役員の方々と相談しながら、今からでも勉強しながらやっていかねば、と思っています。

加藤

業界で就業される女性の悩みや孤独感が少しでも和らぎ、明るい業界を目指し、ホームページとなる女性部を東久保会長を中心に築いていきます。このような活動を協会内でアピールして、一人でも多くの会員を増やしていくことを、今回は参加されませんでした。橋本万里子副会長とともに注力します。

東久保

いま振り返ってみますと、女性部の立ち上げは、周りのご支援のおかげもあり、思いの外順調に進みました。その渦中にあったときは、必死な思いで突っ走っておりましたので、今だからこそ冷静にその時の状態を判断できるのかもしれませんがね。

しかし、今は継続していく難しさを実感していますので、組織づくり、後継者の育成、人脈ネットワークの拡大を推進してまいります。

今でも立ち上げ時同様に、熱い思いは変わりません。この先も女性部が存続し、皆様が元気で、この業界に貢献でき、子ども達にすごい！って、思ってもらえるような業界を目指しています。

そしてその子らが、お父さんお母さんの会社を継ぎたい、と言ってもらえるよう、業界が繁栄していくことを願っています。

また、事業開催の時などに、一般の方から産廃業界は男性社会だと思われるようで、女性部の存在に驚かれることがあります。

事業を介していろいろな機会に、時代の最先端をいく資源循環業界には、笑顔がキラキラした女性部が活躍していることを知っていただき、なりたい職業ベスト5にランクインできるよう頑張ります！

目標は大きく掲げ、公言することで叶うと信じています！

中野

素晴らしいことだと思います。

東久保

余談ですが、「循環あいち」に女性部事業が掲載されますが、他県の事業に参加した際、「東久保さんですね？「循環あいち」によくお写真が載っているのわかりました。」と声をかけられます。

その度、愛知県協会女性部の事業を全国で見られていると思うと、充実した事業の開催を心がけなくてはと身が引き締まります。

中野

私も期待して応援します。

元広報編集委員長としての最後の役割が果たせたようでとてもうれしいです。

貴重なご意見を賜り皆様ありがとうございました。

Photograph



令和元年9月 女性部設立総会



令和2年9月 中野副会長と女性部の座談会
「循環あいち」117号掲載



令和3年12月 フラワーアレンジメント講習会



令和3年12月 愛知県副知事 青山桂子氏をお招きして
女性活躍推進セミナーを開催



令和4年9月 （公財）愛知臨海環境整備センター（ASEC）
への施設見学会



令和5年10月 青年部の10月全体会議のドッジビー大会に女性部が参加
加藤副会長、今津悠見委員、永井会計が大活躍！

名古屋支部

名古屋支部通常総会開催

名古屋支部（永井弘児支部長）令和6年度通常総会が開催されました。

- 日 時：令和6年6月5日（水）
午後4時30分
- 会 場：東京第一ホテル錦（名古屋市中区）
- 出席数：104社（会場35社、委任状出席69社）／正会員数179社

名古屋支部通常総会は、浅井明利副支部長の司会・進行にて始まり、開会の辞を山本英之副支部長が宣言されました。

開会の挨拶を永井支部長が述べ、来賓としてお招きした名古屋市環境局事業部廃棄物指導課長 河野友成氏から挨拶がありました。

- 第一号議案 令和5年度事業報告承認
- 第二号議案 令和5年度決算報告及び剰余金処理承認
- 第三号議案 令和6年度事業計画承認
- 第四号議案 令和6年度予算承認
- 第五号議案 任期満了に伴う役員改選について

議案審議に先立ち、議長は会則により永井支部長が選任され、議事録署名人として、小野島常夫委員、古賀正明委員の二名が選出された後、平野範之会計から提案説明があり、審議が行われ全ての議案が承認されました。

閉会の辞は、山本副支部長が宣言され総会は終了しました。



開会の挨拶をする永井支部長

次に、名古屋市環境局事業部廃棄物指導課課長補佐 駒中隆文氏による「災害時の廃棄物処理等について」、同課課長補佐 長谷川宏樹氏による「産業廃棄物の排出状況等について」の講演がありました。

令和6年度事業計画

世界的な情勢の変化が企業や組織にも大きな影響を与えています。

2023年は世界的な経済の不安定さや地政学的な緊張がありましたが、2024年は元旦の能登半島沖地震に始まり、物価の高騰、労働基準法改正にて労働時間の制限など、引き続きこれらの要因が我々の事業に影響を与えることが予想されます。我々はこれらの変化に対応するため、柔軟性を持った戦略とリーダーシップが求められると認識しています。

また、緊迫感が極めて高まっている国際情勢により、先行きの不透明感が一層増している中にも関わらず、産業廃棄物業界を取り巻く環境は益々



司会・進行の
浅井副支部長



開会の辞を述べる
山本副支部長



来賓の挨拶をする
河野課長



提案説明をする
平野会計



講演をする
駒中課長補佐



講演をする
長谷川課長補佐



総会の様子

求められている安全労働問題、明日発災してもおかしくない東南海地震における災害廃棄物問題、2030年までに達成目標となっているSDGs、2050年達成目標である脱炭素、プラスチックの材料リサイクル促進などの廃プラ新法、事業のデジタル化などのDX推進などの解決実現に向け乗り越えなければならない課題が山積となっている状態です。

今年度、名古屋支部として、昨年度に引き続き災害時における災害廃棄物仮置場設置・運営訓練を実施し、緊急時にいかに対応できるかを訓練したいと思います。

また、視察研修や勉強会において、支部会員並びに（一社）愛知県産業資源循環協会の発展の一助となりうる事業を行い、地域貢献のためのボランティア活動やラジオCMを展開することにより、業界の普及啓発にも取り組んでいきたいと思っています。

本年度も毎月のように事業が開催されますが、どうぞよろしくお願いいたします。

1. 組織強化拡充事業

協会事業への参画

2. 研究研修事業

講演会・研修会・施設見学会等の開催

研修会：9月頃、施設見学会：令和7年2月頃

3. 親睦・交流事業

会員相互及び行政機関との情報交換を始め、親睦・交流を図るための事業を開催します。

夏季納涼親睦会：7月末開催

4. 災害廃棄物仮置場設置・運営訓練

名古屋市と合同で災害廃棄物の仮置場設置・運営訓練を昨年に続き実施 10月22日実施予定

5. 普及啓発事業

(1) 産業廃棄物不適正処理防止活動

5月30日実施

(2) 藤前干潟不法投棄ごみ撤去作業活動

11月実施予定

6. 事業継続計画（BCP）の周知及び運用

本年度は、名古屋市との災害廃棄物仮置場設置・運営訓練の際にも、このBCPを利用して、連絡手段などの訓練をしていくと同時に、皆様にも周知していただきたいと考えております。



新役員の皆様

■令和6年度・7年度 支部役員

支部長	永井 弘児	永一産商（株）
副支部長	山本 英之	明倫運輸（株）
副支部長	浅井 明利	（有）浅井商店
会 計	平野 範之	フルハシEPO（株）
委 員	新美 三良	（有）三洋サービス
委 員	清水 善実	（株）シミズ
委 員	松原 高治	（株）ユニオンサービス
委 員	古賀 正明	名古屋コンテナ（株）
委 員	西山 幸光	（株）西山商店
委 員	小野島常夫	ヤマケン（株）
委 員	伊藤 泰雄	（株）ダイセキ
委 員	近藤総一郎	近藤産興（株）
委 員	平岡 靖教	（株）南部企業
委 員	高木 宏教	（株）富士石油商会
委 員	高橋 乃愛	（株）光

尾張西支部

尾張西支部通常総会開催

尾張西支部（富田昭夫支部長）令和6年度通常総会が開催されました。

- 日 時：令和6年5月20日（月）
午後4時30分
- 会 場：COURTYARD BY MARRIOTT
NAGOYA（名古屋市中区）
- 出席数：67社（会場40社、委任状出席27社）
／正会員数76社

尾張西支部通常総会は、佐藤智和副支部長の司会・進行にて始まり、開会の辞を鬼頭弘委員が宣言され、開会の挨拶は富田支部長が述べられました。

次に来賓としてご臨席いただきました、尾張県民事務所廃棄物対策課長 高木貞治氏、海部県民事務所環境保全課長 大野浩二氏、（一社）愛知県産業資源循環協会専務理事 堀部隆司氏、同協会専務理事 待遇小野俊之氏の紹介がありました。

- 第一号議案 令和5年度事業報告承認
- 第二号議案 令和5年度収支決算報告承認
- 第三号議案 令和6年度事業計画承認
- 第四号議案 令和6年度収支予算承認
- 第五号議案 任期満了に伴う役員改選について

議案審議は支部規程により富田支部長が議長に選任され、藤本和也委員、加藤慎史会計が各議案の説明をされ議案の審議が行われ、全ての議案が承認されました。

来賓の挨拶は、尾張県民事務所廃棄物対策課 高木課長が代表で登壇され、2023年3月あいち



挨拶をする富田支部長

サーキュラーエコノミー推進プランの策定等、また、昨年愛産協より要望のあった小型充電式電池の取り扱いについて、今年3月から取り扱い品目を見直した事等について話がありました。

その後、長年役員を務められた新家義彦氏、中島博史氏に感謝の意を表して記念品が贈られました。鶴山圭一氏も退任されますが、当日は都合により欠席されました。

閉会の辞は鬼頭委員が宣言され、総会は終了しました。

令和6年度事業計画

1. 組織強化拡充事業

（1）協会事業への参画

協会事業の円滑な推進を支援するため、協会において決定された事項を実施します。功労者、優良事業所、優良従事者の会長表彰候補者の推薦を行います。

（2）優良会員の加入を促進し退会者を減らし、より良い組織を目指していきます。



司会・進行の
佐藤副支部長



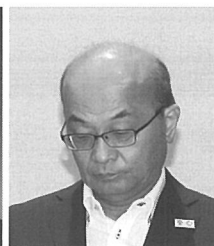
開会の辞を述べる
鬼頭委員



来賓の高木課長



来賓の大野課長



来賓の堀部専務理事



来賓の小野専務理事
待遇

2. 研究研修事業

講演会・研修会・施設見学会等の開催

法令の周知、処理技術の普及啓発、労働安全、交通安全の意識向上を図るため適時開催します。

3. 普及啓発事業

産業廃棄物不適正処理防止活動

行政が実施する各種施策等に協力するとともに、コンプライアンスを守り、不法投棄防止活動を含め広く広報活動を実施していきます。

4. 親睦交流事業

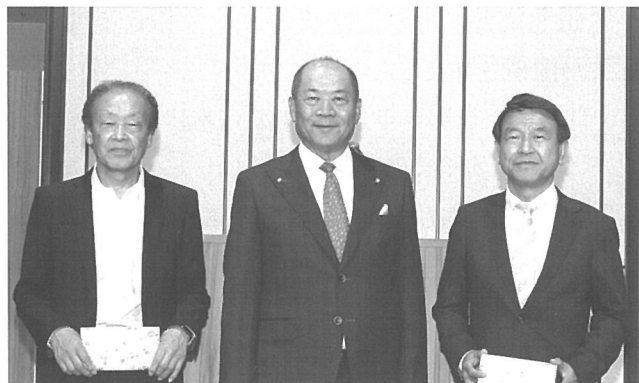
会員相互及び行政機関との情報交換をはじめ、親睦・交流を図る事業を開催します。具体的にはゴルフコンペ・支部ボウリング大会・支部を6ブロックに分けた地区ごとに開催する情報交換交流会等。新型コロナウイルスの感染状況を踏まえながら懇親会等も開催してまいります。

5. 事業継続計画（BCP）の整備

災害廃棄物処理対策に関する特別委員会で愛産協の規約に基づき業務継続計画を作成し、県内全市町村と「災害時における廃棄物の処理等に関する協定」の締結が完了しています。今後は模擬訓練など実践に即した対応と改定をして、支部会員と共に随時勉強していきます。



総会の様子



記念品が贈られた退任される2名の方
左から、中島氏、富田支部長、新家氏



新役員の皆様

■令和6年度・7年度 支部役員

支部長	富田 昭夫	(株) 富田商店
副支部長	佐藤 智和	高和興業 (株)
副支部長	藤本 和也	(株) ワールド・クリーン
会 計	加藤 慎史	(株) 海部清掃
委 員	伊藤 智織	(株) 宮崎
委 員	鬼頭 弘	丸真 (株)
委 員	伊藤 大蔵	(有) 丸公建材
委 員	杉山 英孝	I B ミヤザワ (株)
委 員	平沼 伸基	(株) リバイブ
委 員	鈴木 敏弘	(株) KANKYO HANDS
委 員	永田 雄大	(有) ホクトサービス
委 員	桑原 竜也	昭栄金属 (株)
委 員	中村 史朗	(株) クリンテック
委 員	佐藤 斉	(株) コンフォート

尾張北支部

尾張北支部通常総会開催

尾張北支部（南村朋幸支部長）令和6年度通常総会が開催されました。

- 日 時：令和6年5月30日（木）
午後5時30分
- 会 場：THE KAWABUN NAGOYA
（名古屋市中区）
- 出席数：57社（会場25社、委任状出席32社）
/ 正会員数83社

尾張北支部通常総会は、小野仁委員の司会・進行にて始まり、最初に来賓としてご臨席の（一社）愛知県産業資源循環協会専務理事 堀部隆司氏、同協会専務理事待遇 小野俊之氏の紹介がありました。

開会の辞は今村昌根副支部長が宣言され、開会の挨拶で南村支部長は、「本年度は、コロナ禍以前の活気ある支部事業を開催し、皆様にとりまして実り多き、学びのある活動を目指し運営してまいります。」と述べられました。

- 第一号議案 令和5年度事業報告承認
- 第二号議案 令和5年度収支決算報告承認
- 第三号議案 令和6年度事業計画承認
- 第四号議案 令和6年度収支予算承認
- 第五号議案 任期満了に伴う役員改選について

議案審議は支部規程により南村支部長が議長に選任され、東久保真弓会計が各議案の説明をされ議案



挨拶をする南村支部長

の審議が行われ、全ての議案が承認されました。

閉会の辞は鈴木隆真副支部長が述べ、総会は閉会となりました。

令和6年度事業計画

1. 会員加入の促進

支部エリア内の未加入処理業者・排出事業者に対し加入を呼び掛け、業界の社会的地位及び知識の向上を図る。

2. 研修事業

企業経営の向上及び産業廃棄物の適正処理に関する技術向上を図るため、見学会や法令講習会を開催する。

3. 不法投棄防止と実態調査

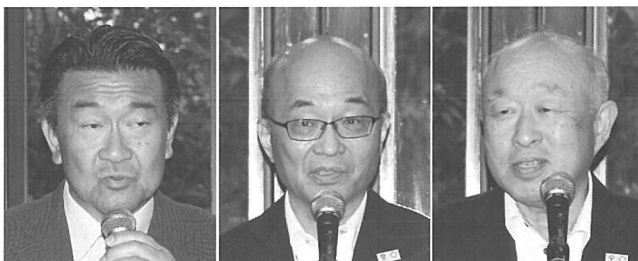
不法投棄防止パトロールを実施し、実態を調査の上関係行政機関と情報交換を行い、指導を受け対処する。



司会・進行の
小野委員

開会の辞を述べる
今村副支部長

議案の説明をする
東久保会計



閉会の辞を述べる
鈴木副支部長

懇親会で挨拶をする
堀部専務理事

懇親会で挨拶をする
小野専務理事待遇

4. 役員会と支部総会の開催

役員会を偶数月第1水曜日に開催し、役員相互の情報交換・本部からの情報伝達を行い、支部総会を年1回行う。

5. 忘年会の開催

会員相互の親睦を図るため、忘年会を年1回行う。

6. 会員相互の親睦会開催

情報交換や会員自身の健康づくりのため、年数回親睦会を行う。

7. 次世代の育成

会員企業からの表彰者推薦書などを積極的に活用し、支部活動に対する会員企業の関心を高める。こうした活動を通じて次世代の育成を図る。

8. BCPの推進及び防災対策

支部エリア内各自治体との災害廃棄物の処理に関する協定に基づく「顔の見える関係性」の構築及び災害廃棄物仮置場設置マニュアルの作成並びに設置訓練の拡充を図る。

9. 行政懇談会提出テーマ取りまとめ

毎年11月頃に開催される行政との意見交換会に提出するテーマを支部としてまとめる。

10. 災害等対策支部基金創設

災害時などに支部として即時執行できる基金

を創設する。使用方法などルールを明確にしておく必要がある。

懇親会では、南村支部長、堀部専務理事、小野専務理事待遇より挨拶がありました。

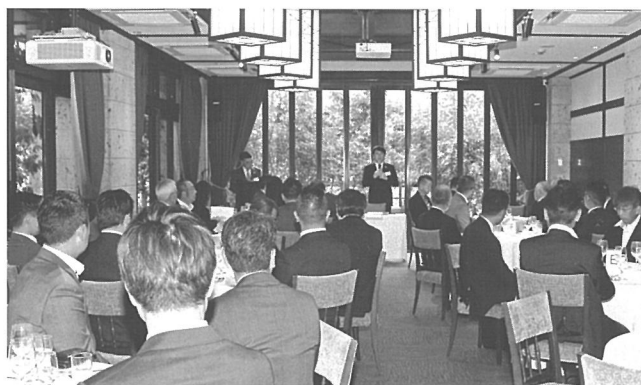
南村支部長からは、この数年支部の総会は「THE KAWABUN NAGOYA」で開催され、会員同士の親睦が更に深まる落ち着いた雰囲気の間であるとのことでした。



新役員の皆様

令和6年度・7年度 支部役員

支部長	南村 朋幸	大和エンタープライズ (株)
副支部長	今村 昌根	(株) 新栄重機
副支部長	鈴木 隆真	(株) リョクリン
会 計	東久保真弓	(有) 愛知環境センター
委 員	小野 仁	誠美社工業 (株)
委 員	荒賀 剛志	(株) 相建
委 員	水野 清高	坪井金属 (有)
委 員	田辺 徹	フジ建設 (株)
委 員	藤本 和重	MAP (株)
委 員	加藤 友美	(株) 紙資源名古屋
監 査	中野 兼司	(株) 東伸サービス



総会の様子

尾張北支部

「環境フェスタとよあけ」参加報告

- 日 時：令和6年5月19日（日）午前11時
- 会 場：豊明市共生交流プラザ「カラット」
体育館会場（豊明市二村台）
- 主 催：豊明市
- 協 力：（一社）愛知県産業資源循環協会尾張北支部（株）リョクリン

尾張北支部（南村朋幸支部長）は、（株）リョクリン（代表取締役 鈴木隆真氏）の全面協力により、豊明市主催「環境フェスタとよあけ」に出展しました。

このフェスタは、「環境」について楽しく体験しながら学べる機会を作ることを目的として開催されており、今年は3回目となります。

今年のテーマ

～『と』もに、『よ』く考え、『あ』そび、
「たい『け』ん（体験）」しよう！～

体育館会場では、様々な体験ブースが出展されており、尾張北支部はお子様を対象にした「ヒノキの枝を用いた工作体験」を開催しました。

多くのお子様が、（株）リョクリンの社員の皆様に手伝ってもらいながら、ヒノキの枝片を使った、箸置き、ペン立て、写真立て、ウッドアスレチックゲー



参加された（株）リョクリンの社員の皆様

ムの工作を体験しました。

自然素材を使った工作教室は他にはなく、体験スペースは常に賑わっていました。

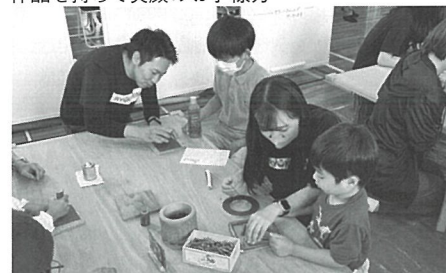
バスロータリー会場では、（株）リョクリンにて実際に廃棄物運搬に使用されている車両を展示しました。

フロントガラスには「災害の時にも大活躍!! アームロール車展示」のPOPを貼って、産廃業者が災害廃棄物の処理でも活躍していることをご理解いただきました。

このイベントには初回から出展しており、こうした取組を積み重ねていくことで、産業廃棄物処理に関する理解を深めていただくとともに、環境教育に貢献していきたいと考えています。



作品を持って笑顔のお子様方



「ヒノキの枝を用いた工作体験」に訪れたお子様と一緒に作品づくりをする社員の方



体育館会場の様子。手前から二つ目までの机が（株）リョクリンの工作体験スペース



バスロータリー会場にて展示された（株）リョクリンの運搬車両

西三河支部

親睦ゴルフコンペ開催

- 日 時：令和6年6月13日（木）
午前9時30分
- 場 所：額田ゴルフ倶楽部
（岡崎市南大須町）
- 参加者：10名

西三河支部（石山勝範支部長）は、スポーツを楽しみながら支部会員同士の親睦を図る「親睦ゴルフコンペ」を額田ゴルフ倶楽部にて開催しました。

コンペには10名がエントリーし、競技はダブルペリア方式によるハンデ戦で、3組で行われました。

日頃は、資源循環事業の最前線でご活躍の会員の皆様ですが、この日は心身ともにリラックスして、和やかな雰囲気の中、親睦を図ることができました。

優勝は、（株）鈴鍵の丹羽庸介さん、準優勝は、新英運輸（株）の金子和弘さん、3位は（有）アイミの石川太一さんです。

皆様、日頃からゴルフを楽しまれているようで、参加者のほとんどの方がネットで80を下回り、3位から6位までの差がわずか0.8ポイント差という、

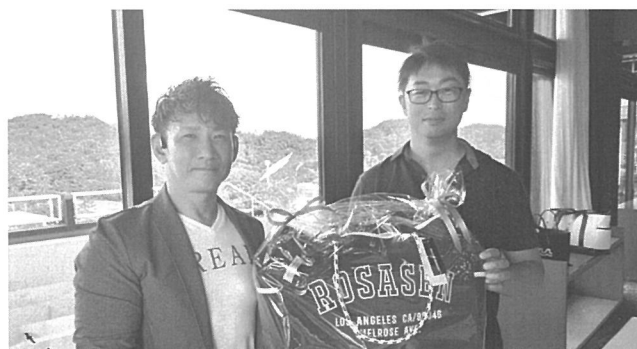
成績表（上位3名） and 受賞者成績表

順位	氏 名	GROSS	HDCP	NET
優勝	丹羽庸介 （株）鈴鍵	85	13.2	71.8
2位	金子和弘 新英運輸（株）	89	15.6	73.4
3位	石川太一 （有）アイミ	87	13.2	73.8

実力が拮抗する非常にハイレベルのプレイでした。

表彰式では、石山支部長から優勝した丹羽さんに記念品が贈られ、笑顔で記念写真を撮りました。

優勝おめでとうございます！



記念品を手にする優勝した丹羽氏（右）と石山支部長（左）



後列左から 渥美和男：（有）渥美商会、金子和弘：新英運輸（株）、神原章寿：（株）三河オイルセンター、丹羽庸介：（株）鈴鍵、石川太一：（有）アイミ
前列左から 篠原秀則：（有）メイコウ工業、中嶋政秋：長坂建設興業（株）、石山勝範：（株）エヌジェイエス、神谷則夫：サンエイ（株）、加藤秀夫：（有）O.W.M.（敬称略）

※誌面の調整上、掲載支部の順序が前後されておりますことをご了承願います。

尾張南支部

尾張南支部通常総会開催

尾張南支部（金田英和支部長）令和6年度通常総会が開催されました。

- 日 時：令和6年6月5日（水）午後4時
- 会 場：魚太郎・蔵のまち（半田市中村町）
- 出席数：39社（会場24社、委任状出席15社）
／ 正会員数51社

尾張南支部通常総会は、新井宝造委員の司会進行にて始まり、開会の辞は中嶋久則副支部長が述べました。

金田支部長は開会の挨拶の中で、長年取り組まれてきた『災害廃棄物処理に関する行政担当者との合同会議』の成果が、本年3月『半田市災害廃棄物仮置場設置・運営訓練』の実施へとつながり感慨深いと思いを述べ、今後の仮置場設置・運営訓練への協力について話されました。

- 第一号議案 令和5年度事業報告承認
- 第二号議案 令和5年度収支決算報告承認
- 第三号議案 令和6年度事業計画承認
- 第四号議案 令和6年度収支予算承認
- 第五号議案 任期満了に伴う役員改選について

議案審議は議長に大塚敬功委員が選任され、議事録署名人に池田貴行委員、都筑章副支部長が選任され議案の審議が始まり、各議案は担当者から説明があり、拍手をもって全ての議案が承認され、閉会の辞を森下勝己委員が述べ総会は閉会となりました。

その後、来賓として臨席された（一社）愛知県産業資源循環協会専務理事 堀部隆司氏、同協会専務理事待遇 小野俊之氏が挨拶を述べました。



挨拶をする新支部長の都筑 章氏

令和6年度事業計画

今年も四半期を過ぎましたが、コロナ禍を乗り越え、自由に行動できる日々が戻ってきたことを、喜ばしく感じられる毎日となっています。

しかし一方、年初に発生した能登半島地震をはじめ、各地で地震が頻発しており、南海トラフ地震発生への不安も頭をよぎります。

海に面した当支部では、以前から地震発生を想定した災害廃棄物処理対応の確立に注力してきました。

今年も引き続きこれを重要課題として、事業に取り組んでまいります。本年度の事業計画を以下策定しましたので、皆様のご協力をお願いいたします。

1. 事業の基本方針

例年同様、以下基本方針に基づき事業を実施いたします。

（1）適正処理秩序確立活動の推進

行政機関及び協会との連携を密にし、情報交換を始め諸施策の支部会員への徹底を図り、適正処理秩序確立活動を推進する。



司会進行の
新井委員

開会の辞を述べる
中嶋副支部長

挨拶をする
金田支部長



議長の
大塚委員

来賓の挨拶をする
堀部専務理事

来賓の挨拶をする
小野専務理事待遇

(2) 会員相互交流活動の実施

会員相互並びに他支部との情報交換を始め、親睦・交流・協力関係を深めるための活動を実施する。

(3) 知識向上及び労働環境の整備向上活動の実施

安全と健康を確保し、ゆとりある生活を維持できる労働環境の向上に資する活動を実施する。

(4) 再資源化について情報提供等支援活動の実施

資源の有効活用・地球環境保全の見地から、廃棄物の再資源化に係わる情報提供等支援活動を実施する。

(5) 関係団体、各種行事への積極的参加活動の実施

関係団体・行政の実施行事等への参加或いは支部協賛を実施し、各種行事への積極的な参加活動を実施する。

2. 具体的事業内容

基本方針に基づいた具体的な内容は以下の通りです。

(1) 適正処理秩序確立活動の推進

- ・半田市クリーンセンター「災害廃棄物仮置場設置・運営訓練」実施後の意見交換会を企画、実施する。
- ・5市5町との「災害廃棄物処理に関する合同会議」を企画、実施する。



総会の様子

(2) 会員相互交流活動の実施

- ・愛産協の福利厚生事業（ゴルフ、ボウリング等）への参加を呼びかける。

(3) 知識向上及び労働環境の整備向上活動の実施

- ・行政機関による各種セミナーを企画、実施する。

(4) 再資源化について情報提供等支援活動の実施

- ・再資源化関連の施設見学会を実施する。

(5) 関係団体、各種行事への積極参加活動の実施

- ・不法投棄防止キャンペーン催事実施と各市町村の環境月間の取組を調査する。



新役員の皆様

■令和6年度・7年度 支部役員

支部長	都筑 章	(株) 野間砂鉦業所
副支部長	中嶋 久則	久栄運輸 (株)
副支部長	瀬戸 雅也	協材碎石 (株)
会 計	平村 圭雨	(株) テクア
委 員	金田 英和	サンコーリサイクル (株)
委 員	相木 徹	オオブユニティ (株)
委 員	新井 宝造	(株) 上野清掃社
委 員	永田 幹人	(株) エイゼン
委 員	池田 貴行	(株) 日誠
委 員	山下 正裕	(株) 知多環境保全センター
委 員	森下 勝己	インセント (株)
監 査	大塚 敬功	豊田ケミカルエンジニアリング(株)

西三河支部

西三河支部定時総会開催

西三河支部（石山勝範支部長）令和6年度定時総会が開催されました。

- 日 時：令和6年5月15日（水）午後3時
- 場 所：竜美丘会館（岡崎市東明大寺町）
- 出席数：85社（会場 35社、委任状出席 50社）
／ 正会員数 112社

西三河支部定時総会は近藤正臣委員が司会・進行、開会の辞を述べ始めました。

石山支部長は開会の挨拶で「昨今の目まぐるしい社会情勢の変化（戦争、株価の変動等）は、私たちの業界にも多大な影響を及ぼし



司会・進行の
近藤委員

ております。私たちの業界は、処理から循環型へとシフトしつつある最中、産官民での情報の共有、ネットワークの広さは大きな強みとなり、私たちの事業に大きな影響を及ぼします。日々変化する世界情勢に立ち向かうためにも、愛産協会員一同、資源循環型社会構築に向け一丸となり、引き続き事業活動へのご協力をお願いいたします。」と述べられました。

次に来賓としてご臨席の、西三河県民事務所廃棄物対策課長 水谷伸介氏、岡崎市環境部次長兼廃棄物対策課長 蜂須賀 功氏、同課許可監視係係長 森本徳恵氏、豊田市環境部廃棄物対策課長 青木 誠氏、（一社）愛知県産業資源循環協会専務理事 堀部隆司氏、同協会専務理事待遇 小野俊之氏が紹介されました。

- 第一号議案 令和5年度事業報告承認
- 第二号議案 令和5年度収支決算報告承認
- 第三号議案 令和6年度事業計画承認
- 第四号議案 令和6年度収支予算承認
- 第五号議案 任期満了に伴う役員改選について

議案審議は慣例により議長は石山支部長が選任され、各議案については渥美和男副支部長、石川太一



挨拶をする石山支部長

会計、丹羽庸介監事から説明があり、議案の審議が行われ全ての議案が承認されました。

閉会の辞は近藤委員が宣言し、総会は閉会しました。

令和6年度事業計画

5月15日	定時総会
6月	不法投棄防止パトロール
〃	親睦会：ゴルフコンペ
7月	研修事業：処理施設視察研修 (株) 鈴鍵視察予定
10月	親睦会：ゴルフコンペ
11月	研修事業：自社PR、調べて発表、 懇親会
12月	忘年会

基調講演会は「災害廃棄物処理対応について」と題して、岡崎市環境部次長兼廃棄物対策課課長 蜂須賀 功氏の講演がありました。



総会の様子



講師を務める
蜂須賀次長

来賓の
森本係長

感想を述べる
青木課長



感想を述べる
水谷課長

来賓の
堀部専務理事

来賓の
小野専務理事待遇

1. 令和5年6月2日大雨による本市の災害廃棄物処理について

- ・住宅被害：全壊1、半壊128、床下浸水262
- ・約280トンの災害廃棄物を回収
- ・災害対応での課題として、地域の集積場所での災害ごみ排出方法の内容が挙がりました。

2. 能登半島地震被災地へ派遣した環境部職員の活動について

①災害ごみの収集

3/1～21、ごみ対策課職員延べ16名が支援

②公費解体

3/10～30、廃棄物対策課職員延べ3名が支援

3. お知らせ

小型充電式電池の取扱いについて

講演は、実際に支援に携わられた内容であるため、発災直後の混乱や災害ごみ収集の現場の状況、対応への課題、公費解体への手順等、リアルな状況が伝わってきました。

現在、愛知県内の市町村と協力して、災害廃棄物処理の仮置場設置・運営訓練が各支部で行われていますので、大変貴重な講演内容でした。



講演の様子

講演後に質疑応答があり、蜂須賀次長、青木課長、水谷課長から回答、及び感想が述べられ基調講演は終了しました。



新役員の皆様

■令和6年度・7年度 支部役員

支部長	石山 勝範	(株) エヌジェイエス
副支部長	渥美 和男	(有) 渥美商会
副支部長	金井 邦剛	(株) ハヤブサ環境サービス
会 計	梅谷 明子	(有) 花丘商事
事務局	石川 太一	(有) アイミ
委 員	中嶋 政秋	長坂建設興業 (株)
委 員	天野 晃明	岡崎技研 (株)
委 員	神谷 則夫	サンエイ (株)
委 員	近藤 大樹	中部保全 (株)
委 員	近藤 正臣	近藤商事土木 (株)
委 員	大谷 次男	(有) O.W.M
委 員	新美 紀善	(株) アルクス
委 員	金安 久文	(有) ヤマガネ商事
委 員	村尾 真人	(株) 大同建設工業
監 事	丹羽 庸介	(株) 鈴鍵

東三河支部

東三河支部通常総会開催

東三河支部（鬼頭秀幸支部長）第30回通常総会が開催されました。

- 日 時：令和6年4月23日（火）午後3時
- 会 場：豊橋商工会議所 3階ホール
（豊橋市花田町）
- 出席数：57社（会場 32社、委任状出席 25社）
／ 正会員数 72社

東三河支部通常総会は伊藤良文幹事の司会・進行にて始まり、開会の辞を竹内臨通夫副支部長が宣言されました。鬼頭支部長は開会の挨拶で「本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。本日は記念すべき30回目の通常総会です。また、今年は役員改選の年です。この1年の事業活動が順調に執り行われ、会員の皆様に感謝申し上げます。昨年の豊川市災害廃棄物撤去作業においては、多くの会員の方の多大なご協力を賜りました。他にも多くの会員の方から支援の要望がありました。今後、各地で災害が起きることがあるかもしれません。その際は、是非皆様のお力をお借りすると思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。



挨拶をする
鬼頭支部長

近年、私たち産業廃棄物処理業者は経済的、社会的、環境保全的にも無くてはならない存在として成長してきたと思います。これからも東三河支部会員の皆様がさらなる成長を成されますようご祈念申し上げます。

議案審議では清水宏臣副支部長が選任され議案審議が行われ、全ての議案が承認されました。

- 第一号議案 令和5年度支部事業報告、収支決算報告、剰余金処理承認、監査報告
- 第二号議案 任期満了に伴う役員改選について
- 第三号議案 令和6年度支部事業計画承認
令和6年度支部活動スケジュール承認
令和6年度支部収支予算承認



新役員の皆様

来賓として、東三河総局県民環境部環境保全課長 西野正洋氏、同課主幹 小関寛之氏、東三河総局新城設楽振興事業所環境保全課課長 井上智香子氏、豊橋市環境部廃棄物対策課長 鈴木一弘氏、（一社）愛知県産業資源循環協会専務理事 堀部隆司氏、同協会専務理事待遇 小野俊之氏がご臨席され、挨拶をされました。

次に、退任される竹内臨通夫副支部長、津田治秀監査から挨拶があり、鬼頭支部長は感謝の言葉を述べ花束を贈呈し、総会は閉会となりました。

支部創立30周年記念の基調講演は、「東三河支部創立時から見た産業廃棄物業界」と題して、東三河支部初代支部長加山興業（株）取締役会長 加山昌弘氏を講師としてお招きして、30年にわたる業界の変遷について講演いただきました。

令和6年度事業計画

本年度、東三河支部は、記念すべき30周年を迎えます。この間、経済状況は著しく変化をとげてきました。バブル崩壊、リーマンショック等を乗り越えて、現在は、労働者不足や物価高騰にともなう賃上げ問題等と様々な問題を抱えています。また一方では、阪神淡路大震災、東日本大震災、今年元日に起きてしまい、まだまだ復興にはとても時間のかかる能登半島地震災害や各地で台風、大雨による水害等、様々な自然災害にみまわれました。昨年の6月には、東三河地域でも線状降水帯により、大雨となって、かなりの数の家屋が被災しました。その他日本だけではなく、世界中でも同様な事が起きています。今や想定外の出来事はないと言って過言ではありません。



左から 鬼頭支部長、退任される津田監査、竹内副部長

そのような中、私たちは、産業廃棄物処理業者として、何が出来るかを模索し、改善していかなければなりません。東三河支部では、発足当初から会員相互の親睦を図る活動をはじめ、法令講習会や視察研修会、不法投棄撤去作業を行ってきました。そして、昨年度から、コロナの影響で中断を余儀なくされた担当行政との懇談会も復活させることもできました。また、以前から進めている災害廃棄物処理については、愛産協として、災害廃棄物処理についての特別委員会も活発に活動しています。その影響もあり、豊橋市主催で、仮置き場設置図上訓練も行われ、東三河支部会員も大勢参加し、とても勉強になりました。他の支部におかれましても、災害を想定した訓練を徐々に始めています。このようなことを実施した成果もあり、昨年の6月に起きた大雨災害時には、豊川市からの要望に迅速に対応できたと思います。

今や私たちは、東三河地域において、確実になくてはならない存在であると自負しております。

本年度も30周年という節目の年に、過去から学んだことをしっかりと見据え、未来へ向けて、今一度、東三河支部会員の親睦と交流を深め、より一層、担当行政との連携及び地域住民やステークホルダー（利害関係者）とのコミュニケーションを図りながら、継続的に社会へ役立つ団体を目指します。

具体的な事業活動は以下の通りです。

●令和6年度の東三河支部活動、重点項目

- 東三河支部会員の拡大と連携強化を図る親睦活動や総会等、総合的な活動（総務部会担当）
- 関係法令やサーキュラーエコノミーに関することを学ぶ研修及び地域の環境保全活動（運営部会担当）



基調講演の講師を務める加山会長

- 産・官・民連系事業として、地域貢献活動や災害時に対する準備及び対応事業活動。その他、役員会で30周年記念特別事業（事業部会担当）

1. 【総務部会】

東三河支部の連携強化並びに組織運営の円滑化を実施

2. 【運営部会】

東三河支部30周年を迎えるにあたり協会員相互の懇親を深める。巡回パトロールの強化と行政との連携を密にして不法投棄抑制につなげる。

3. 【事業部会】

協会員各位の持続発展可能な事業活動の一助となるよう、資源循環事業における法改正等、速い変化の経済活動に対応できるよう、スムーズな情報提供

■令和6年度・7年度 支部役員

支部長	鬼頭 秀幸	(有) リサイクリング産業
副支部長	清水 宏臣	(有) 清水商店
副支部長	酒井 正樹	(株) 加藤解体工業
会計幹事	小島 達也	成和环境 (株)
委員（専務）	金海慶太郎	(株) ビソー環境
委員	伊藤 良文	(株) マルサワ
委員	宮澤 光	サーラ物流 (株)
委員	洪本 雅昭	(株) MARUKO
委員	井本 佳宏	(株) イモト
委員	柏原 宏人	加山興業 (株)
委員	萩原 裕久	壽鋳業 (株)
委員	加藤 高志	(株) 加藤土木解体
委員	遠山 大樹	(株) 環境むかい
監査	長崎 正敏	(株) トヨジン
監査	松井 忠博	(有) 松井工業

青年部

青年部通常総会開催

青年部（天野晃明会長）第38回通常総会が開催されました。

- 日 時：令和6年4月17日（水）
午後4時30分
- 会 場：THE CONDER HOUSE 名古屋
THE LIVING ROOM (3F)
- 出席数：49社（会場 36社、委任状出席 13社）
／ 会員数 58社

青年部総会は宮下雄一郎副会長の司会・進行にて始まり、開会の辞を加藤秀夫監事が述べ、天野会長の開会の挨拶がありました。

来賓の祝辞は永井良一会長が述べ、その後、事務局堀部隆司専務理事、小野俊之専務理事待遇の紹介がありました。

議案審議では、松永 宰副会長が議長となり審議が始まり各議案の説明後、全ての議案は会場の拍手にて承認されました。

- 第一号議案 令和5年度事業報告、貸借対照表、収支決算書及び剰余金処理承認
- 第二号議案 規約改定承認
- 第三号議案 任期満了に伴う役員改選について
- 第四号議案 令和6年度事業計画及び事業収支予算書承認

役員改選後の新役員の挨拶で富田康祐会長は「ただいま（一社）愛知県産業資源循環協会青年部第16代会長に選任いただきました（株）富田商店 富田康祐です。愛産協青年部の発展のために誠心誠意努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。まずもって、永井会長、堀部専務理事、小野専務理事待遇におかれましては、大変お忙しい中、本日の総会にご出席賜り、誠にありがとうございます。また、日頃は青年部事業への格別なるご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、突然ですが私は愛産協青年部が大好きです！エネルギーに満ち溢れた次世代を担うメンバーが集い、多くの学



新役員代表で挨拶をする富田会長

びを得ることができるとても素晴らしい会だと思っています！そんな青年部を、私は全国の中で一番活気のある会にしていきたいです。後ほどの事業計画でもご説明いたしますが、今年度は新しい事業に取り組むことを考えております。また、青年部については皆様共通しておっしゃられることがあります。それは『横の繋がりを大事にする』ということです。いつの時代も変わらないものは大切にし、新しいことにチャレンジしていく。そんな青年部を目指して私自身、2年間誠心誠意、全力で取り組んでまいりますので、皆様どうぞ青年部活動へのご理解ご協力、そしてご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。簡単ではございますが、新役員代表の挨拶と代えさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。」と述べました。

その後、青年部を卒業される（有）浅井商店の浅井明利氏が紹介され、卒業の挨拶をされました。

閉会の辞を遠山大樹副会長が述べ、総会は閉会しました。

令和6年度事業計画

昨年度は、長らく続いた新型コロナウイルス感染症による活動自粛も緩和され、青年部も多くの事業を行うことが出来ました。互いの会社の理解を深めるビジネス交流会、4年ぶりの開催となった県外への視察研修、SDGsについて分かりやすく学ぶSDGsカードゲーム、中部ブロックとの合同事業で行ったスポーツ交流会を実施し、また、沖縄県で行

われた全国大会には、全国の中で最多となる29人の方に愛知からご参加いただくなど、盛んに交流・懇親を深めることが出来た1年間だったと思います。

さて、今年度は青年部の事業内容のひとつであるボランティア活動に重点置いております。他県の活動を見てみると、子ども達への環境教育事業（出前講座）、地域やイベントでの清掃活動に参加するなど数多くの社会貢献事業を行っております。愛知県としては新しい取組になりますので、皆様には是非積極的に参加していただき、多くの学びを得る機会を共有していきたいと思っております。その中で青年部活動のPRをしていくことが、業界の、そして各社の活性化に繋がると考えております。また、引き続き会員同士の交流が深まるような事業も行っておりますので、よろしくお願いいたします。

委員会体制は2委員会+役員会メンバーの交流委員会で構成します。

1. 教育推進委員会

教育推進委員会では、次世代を担う子ども達へ環境教育事業等を行うことで環境問題への理解を深めていただくとともに、我々の取組を発信していくことを目的とする。

2. 環境美化委員会

環境美化委員会では、社会貢献活動の一環として地域の環境保全に取り組むことで、業界及び青年部のイメージアップにつなげることを目的とする。

3. 交流委員会

交流委員会は、青年部会員同士の交流を目的とした事業や年末懇親会の企画をしていきます。

また、普段参加出来ない会員の皆様への声かけ等も行い、長年の課題である青年部活動の参加率向上に向け活動を行っていきます。

今年度も青年部らしく活動していきましょう！



●年間スケジュール

- 4月：第38回通常総会
- 5月：中部ブロック総会（静岡県）
- 6月：交流委員会事業
 - 〃 全産連通常総会（東京）
- 9月：環境美化委員会事業
 - 〃 中部ブロック事業（三重県担当）
- 10月：教育推進委員会事業
- 11月：中部ブロック事業（愛知県担当）
- 12月：年末懇親会
- 令和7/ 1月：愛産協新年交礼会
- 2月：中部ブロック事業（岐阜県担当）

■令和6年度・7年度 役員

会 長	富田 康祐	(株) 富田商店
副会長	遠山 大樹	(株) 環境むかい
副会長	東久保翔平	(有) 愛知環境センター
総括幹事	宮下雄一郎	(株) 石川マテリアル
会 務	中川 雄太	(有) 中川油脂商店
会 計	伊藤 彰英	丸う運輸 (株)
広 報	渥美 和男	(有) 渥美商会
委員長	今津 悠見	(株) アグメント
委員長	城田 真	(株) アメニティライフ
副委員長	岡本 周作	高浜衛生 (株)
副委員長	徳石 俊太	(有) リプロ
直前会長	天野 晃明	岡崎技研 (株)
監 事	丹羽 庸介	(株) 鈴鍵
監 事	永井 雅大	永井産業 (株)

女性部

女性部通常総会開催

女性部（東久保真弓会長）令和6年度通常総会が開催されました。

- 日 時：令和6年5月14日（火）
午前11時30分
- 会 場：名古屋マリオットアソシアホテル
中国料理 梨杏
（名古屋市中村区）
- 出席数：18社（会場 16社、委任状出席 2社）
／ 会員数 19社

女性部総会は、橋本万里子副会長の司会・進行にて始まり、開会の辞を加藤友美副会長が宣言されました。

開会の挨拶で東久保会長は「今年で第6回目の総会を迎えます。総会が一番皆様にご参加して下さるのでとてもうれしいです。また、昨年中部地域四県の女性部の顔合わせがあり、今年9月に『全国産業資源循環連合会女性部協議会・中部地域協議会女性部会設立総会』の運びとなり、本年度のメインイベントと言っても過言ではありません。設立総会の状況につきましては設立後に報告をさせていただきます。では、本年度も女性部事業に多くの方の参加・ご協力をお願いいたします。」と述べました。

議案審議では、議長は東久保会長が選任され、各議案の説明があり全ての議案は拍手を持って承認され総会は終了しました。

閉会の辞は加藤副会長が宣言され閉会となりました。

- 第一号議案 令和5年度事業報告承認
- 第二号議案 令和5年度収支決算報告承認
- 第三号議案 令和6年度事業計画承認
- 第四号議案 令和6年度収支予算承認
- 第五号議案 任期満了に伴う役員改選について



総会の記念撮影
前列の永井愛会計が抱っこしている赤ちゃんは、永井会計後ろの三根さゆり氏（眼鏡をかけた方）の昨年誕生されたお子さんです。女性部ならではの全員が満面の笑顔になってしまうベストショットです。

令和6年度事業計画

1. 組織強化拡大事業

一般社団法人愛知県産業資源循環協会会員内の女性部未加入会員を対象に加入を呼びかけ、業界の女性層の一層のレベルアップと次世代への継承に向けて、協会と業界の発展につながるよう業界の女性層の組織化・活躍促進を図る。

「循環あいち」を活用し、女性部の活動をPRすることにより、女性部への会員加入促進を行う。

2. 研修事業

女性ならではの視点で、講演会・研修会等を開催し、女性力のアップを図る。

3. 親睦・交流事業

会員相互の情報交換を始め、親睦・交流を図るために事業を開催する。また、他都府県協会女性部主催の行事に積極的に参加し、愛知県産業資源循環協会女性部のPRをするとともに、他都府県協会の女性部と交流を図る。

通年事業活動

収集ボランティア活動：使用済み切手の収集

令和6年度活動計画

4月24・25日	全国産業資源循環連合会女性部協議会主催 山形県施設見学会
5月14日	通常総会、親睦会
6月10日	(一社)愛知県産業資源循環協会 通常総会
6月14日	全国産業資源循環連合会女性部協議会 第2回通常総会
7月23日	バイオマス小牧施設見学会
9月12日	全国産業資源循環連合会女性部協議会 中部地域協議会女性部会設立総会
11月15日	全国産業資源循環連合会女性部協議会主催 「全国女性部会のつどい」in 岐阜
12月5日	セミナー
令和7年 1月7日	(一社)愛知県産業資源循環協会 新年交礼会
3月24日	スナッグゴルフ、懇親会

その他の活動予定

- ・各支部、青年部活動の参加
- ・全国女性部協議会活動の参加
- ・中部地域協議会女性部会との交流会 他

令和6年度・7年度 役員 ※役員の任期は1期2年

会 長	東久保真弓	(有)愛知環境センター
副会長	加藤 友美	(株)紙資源名古屋
副会長	橋本万里子	(有)伸和环境
会 計	永井 愛	永井産業(株)
委 員	今津 悠見	(株)アグメント
委 員	国本 百恵	(有)ケーアイ



司会・進行の橋本副会長



開会・閉会の辞を述べる加藤副会長



挨拶をする東久保会長



新役員の国本委員



総会の様子



総会の様子

全国産業資源循環連合会 青年部協議会 中部ブロック

日 時：令和6年5月31日（金）
午後4時30分
場 所：クーポール会館 7A（静岡市葵区）

全国産業資源循環連合会青年部協議会 中部ブロックの「第22回通常総会」が静岡市にて開催され、愛知県からは17名が参加しました。

- 第一号議案 2023年度事業報告並びに決算承認
2023年度監査報告
- 第二号議案 役員改選
- 第二号議案 2024年度事業計画並びに事業予算承認

2024年度事業計画

重点項目

「1+1 が 3.4.5 になるように」
この数年間、私たちは今まで経験したことのない体験をしてきました。

コロナ禍が終わり様々な事業活動ができるようになり、新しい出会いをし新しい気づきができ、一つ一つの事業活動で成長してきたと思います。出会いと言っても、交流事業を通しての人との出会い、勉強会、研修事業

第22回通常総会

での新しい知識との出会いと様々あると思います。この一つ一つの出会いを中部ブロック活動を通し、会員の皆様のお役に立てていけたらと思います。

そして、時代が動いていく中でも、大声で笑ったり、未来を語り合ったり昔から変わらない事、譲れないことがあります。青年部だからこそできる新しい発見や行動を、各事業を通し会員の皆様と共有していきます。そのために青年部協議会に参加しているメリットを最大限に活用していただくために、新たな幹事と共に考え進んでいきます。

今年度は、各事業の参加率が上がるように、れん楽網を全面的に活用し様々な事に挑戦していきますので、よろしくお願いいたします。



総会参加者の皆様

全国産業資源循環連合会 青年部協議会

日 時：令和6年6月13日（木）午後3時
場 所：AP新橋
（東京都港区）

全国産業資源循環連合会青年部協議会（海野泰兵会長）は「第25回通常総会」を開催され、愛知県青年部からは、4名が参加しました。

- 第一号議案 令和5年度事業報告承認
- 第二号議案 令和5年度収支決算報告承認
令和5年度監査報告
- 第三号議案 役員改選
- 第四号議案 令和6年度事業計画承認
- 第五号議案 令和6年度収支予算承認

令和6年度事業計画

令和5年度は新型コロナウイルス感染症が5類へ移行され、行動制限の規制が緩和され、私たちの産業廃棄物業界も以前と比べ大きく変貌を遂げることができました。

一方、脱炭素社会の実現に向け、SDGsの推進やサーキュラーエコノミー実現など私たちの業界への期待も大きく変化しております。

また、DX活用の推進は、高齢化や人口減少など我

第25回通常総会

が国が抱える課題解決に直結しております。そこで私たち青年部協議会は、今年度も昨年度に引き続き、DX活用による情報共有や47都道府県青年部会が実施するSDGs活動の推進を基軸に、次世代を担う人材の育成に取組、公益社団法人全国産業資源循環連合会が推進する循環型社会の実現と脱炭素社会への貢献へ進めて参ります。

昨年度、本青年部協議会は47都道府県青年部のご尽力により会員数が2,000名を超えることができました。設立25周年を迎える今年度は、原点に立ち返り、47都道府県の青年部の発展こそが青年部協議会の設立30周年に向け今なすべき事であると信じ、皆さまと手を取り合い歩んで行きます。



総会に参加された皆様（愛知県青年部含む。）

全国産業資源循環連合会 女性部協議会

第2回実践研修会@山形

日 時：4月24日（水）25日（木）

場 所：山形県内の事業所

ほほえみの宿 滝の湯、（株）クリーンシ
ステム、（株）大風印刷

出席者：30名

今年度の実践研修会はSDGsの観点から、各社の取組及び社内見学を実施いたしました。

3社それぞれに安全衛生を第一に考慮された職場環境づくりと、多様な人材が活躍できる環境配慮が至る所で実践されていたので、学ぶべき点が多数あり大変実り多き研修会でした。



ほほえみの宿滝の湯玄関にて



（株）クリーンシステム玄関にて



（株）大風印刷にて研修の様子

全国産業資源循環連合会 女性部協議会

第2回通常総会

日 時：6月14日（金）

場 所：明治記念館（東京都港区）

全国産業資源循環連合会女性部協議会の第2回通常総会が開催されました。

愛知県からは、東久保真弓会長、加藤友美副会長、永井愛会計の3名が出席しました。

- 議 事：1. 令和5年度活動報告承認
2. 令和5年度収支決算報告承認
令和5年度監査報告
3. 令和6年度活動計画承認
4. 令和6年度収支予算承認
5. 女性部協議会会則の一部改正について
6. 役員承認

総会終了後、講演会が開催されました。



総会の様子

・講演テーマ

「創立150周年を迎えた警視庁における女性活躍推進等について」

・講師

警視庁警務部人事課一課 女性活躍推進担当管理官
警視 若尾美由紀氏

第3次労働災害防止計画推進標語

労働災害ゼロ目指し まずはトップのキックオフ



公益社団法人 全国産業資源循環連合会

一般社団法人愛知県産業資源循環協会

事務局だより

令和6年度 第1回理事会

1. 開催日時 令和6年5月13日（月）

2. 開催場所 協会 3階 会議室

<承認事項>

議題1. 会員動静について

事務局より、配付資料に基づき、前回理事会以降、入会（正会員1社、賛助会員1社）、退会（正会員1社、賛助会員2社）、資格喪失（正会員1社）で、会員数は680社（正会員593社、賛助会員87社）で2社減の報告があり、承認された。

その他、会員企業の社名・住所・代表者の変更等について報告があった。

議題2. 第13回通常総会並びに愛知県産業資源循環協会暴力対策協議会総会の実施要領等について

議題3. 第13回通常総会議案書（案）承認について

議題4. 愛知県産業資源循環協会暴力対策協議会総会議案書（案）承認について

議題5. 退任する役員への表彰及び役員退職慰労金の支給について

議題6. 支部・青年部・女性部選出の令和6年度委員会委員について

その他、

- (1) 青年部及び女性部から理事会に「オブザーバー」として各1名参加の提案
- (2) 理事会のペーパーレス化の推進及び役員の出欠席のFAX回答の取りやめの提案

<報告事項>

1. 支部・青年部・女性部役員について
2. 令和6年度全産連会長表彰並びに愛産協会長表彰等について
3. 全産連第14回定時総会について
4. 災害廃棄物処理の協力に関する協定の締結市町村の担当窓口等の変更について
5. 全国一斉清掃キャンペーン「海ごみゼロウィー

ク2024」の開催について

6. 産業廃棄物の適正処理に係る指導強化月間の実施について
7. 「もりの学舎」におけるCSR活動の実施報告について
8. 令和6年度版冊子「産業廃棄物を適正に処理しましょう」について
9. 協会・委員会・部会・支部・青年部・女性部の活動状況について
10. 今後の主要行事

■会員情報の変更

社名変更

<西三河>

- ・(株)太田圧送 → (株)カノン

住所変更

<名古屋>

- ・三重中央開発(株)名古屋営業所
名古屋市中区錦2-19-1 鴻池ビルディング13F
TEL 052-218-6580 FAX 052-218-6870
→ 名古屋市中区丸の内3-23-8 ML]丸の内ビル3F
TEL 052-228-1360 FAX 052-228-1361

<名古屋>

- ・(有)マルジュウコンドル商事
名古屋市東区香流2-1004
TEL 052-772-0416 FAX 052-778-2233
→ 長久手市鴨田708
TEL 0561-62-5030 FAX 0561-57-1788

<賛助・名古屋>

- ・(株)ハウセイ開発
名古屋市瑞穂区八勝通2-32-1
TEL 052-836-7231 FAX 052-836-7234
→ 春日井市明知町字頓明1510-19
TEL 0568-93-1250 FAX 0568-93-1251

代表者変更

<名古屋>

- ・三重中央開発(株)
代表取締役 金子 文雄(退任)
(大栄環境(株)代表取締役社長)
→ 代表取締役 平井 俊文

<名古屋>

- ・光明(株)
代表取締役 林 鎮夫(退任)
→ 代表取締役 井上 謙吾

<名古屋>

- ・前田道路(株)中部支店
代表取締役副社長 武川秀也(代表取締役会長)
→ 支店長 岡田 啓源

<賛助・名古屋>

- ・重機商工(株)
代表取締役 城所 幹男(退任)
→ 代表取締役 城所 真男

<尾張北>

- ・ミノキン(株)
代表取締役 野倉 茂和(取締役)
→ 代表取締役 野倉 哲也

<西三河>

- ・(株)竹内組
代表取締役 竹内 美智子(取締役)
→ 代表取締役 村山 和志

<西三河>

- ・(株)カノン
代表取締役 水野 賢二(退任)
→ 代表取締役 浅岡 直人

<賛助・県外>

- ・トライシクル(株)
代表取締役 福田 隆(辞任)
(ホールディングスのサイ클ーズ
(株)代表取締役は継続)
→ 代表取締役 山田 晃一

支部変更

- ・永井産業(株)
尾張西支部 → 名古屋支部



ご報告

女性部設立当初より、会員の皆様からご寄付をいただいております使用済み切手が、多数集まりましたので、(公社)日本キリスト教海外医療協力会へ第5回目を送らせていただきました。

令和6年6月に同会より受領書のお便りをいただきましたので、この場をお借りしてご報告をさせていただきます。

ご協力いただきました皆様方には、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

(一社)愛知県産業資源循環協会女性部
会長 東久保 真弓

郵便はがき

4 6 0 0 0 2 2

63

白南郵便局 NAYON

愛知県名古屋市中区金山
2-10-9第8フクマルビル5階
(一社)愛知県産業資源循環協会
女性部
御中

使用済み切手、書き損じ葉書、外国コイン・外国紙幣等の受領確認書
受領発行日:2024年6月12日

この度はご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

ご協力に感謝いたします。なお、切手の回りは1cmぐらい余白を空けて切ってください。皆様にお伝えください。詳しくは下記URLをご覧ください。

ご寄付をいただいた団体様へ限り、団体名を当会のホームページに掲載します。掲載不要の場合は、事務局までご連絡ください。*個人のお名前は掲載いたしません。*

公益社団法人日本キリスト教海外医療協力会切手部
★切り方が載っています⇒<https://www.jocs.or.jp/supprt/stamp>

インクジェット



中野兼司委員長、新美三良副委員長、鈴木隆真委員、 東昌克委員、伊藤良文委員、広報編集委員をご退任 長年ご貢献いただきありがとうございました

中野兼司委員長（在：11年）

11年間という長きにわたり務めさせていただいた広報編集委員長の職を、退任させていただく事となりました。

今思いますと長くもあり短くもあった「循環あいち」の委員会活動ですが、私にとりまして大変勉強になった期間だったと感謝しております。

また、「情報発信」のやり方の中で「伝える」ことの難しさも同時に学ばせていただきました。

「循環あいち」は会員の皆様はもちろん、行政の皆様や関係各所に幅広く見ていただいております。愛産協がどのような活動をし、我々の想いのベクトルがどの方向に向かっているかを伝えられる唯一の機関誌だと自負はしております。

しかし、世の中は常に移り変わっていくので、「循環あいち」の在り方や情報の発信の仕方も将来的には変わっていくのかもしれませんが。伝える手段は変わっていても、自らの情報発信の大切さを常に忘れずにいてほしいと願っております。

最後に、私は「資源循環」とはモノだけではなく、大切なことを次世代の人に引き継ぎ、循環させていくことがとても重要だと思います。何卒ご理解願ひ、引き続き皆様のご支援ご協力賜りますようお願い申し上げます。

長いあいだ誠にありがとうございました。深く感謝いたします。

2024年 6月 吉日

前編集委員長／中野兼司



新美三良副委員長（在：4年）

広報編集委員の拝命を受けたところ、いきなりの副委員長職となり、とても戸惑ったのが本音です。しかし、委員長の中野氏とは懇意であったため、委員会の運営のサポート役を快諾させていただきました。

この機に振り返ってみると、前身の「産業廃棄物処理事業協同組合」時に「青年部会」が発足され、委員長、副会長、そして会長という大役を仰せ付かり、現在に至るまで協会と共に歩み、育てていただきました。

いまや産廃業界は「資源循環」及び「環境保全」を担う業界であることは、環境学習・啓発事業の推進により、幼いお子様から高齢者の方まで、社会全体が周知しております。だからこそ、私たちの業界のイメージアップにつながる広報活動（機関誌、ホームページ、マスメディア、イベント等）は重要であると考えております。

退任後は、これまでの経験と広報編集委員として得たフットワークを活かし、新たな活動にも注力いたしますので、ご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びとして、これまで支えてくださった委員会の皆様に心より感謝申し上げます。

ありがとうございました。

2024年 6月 吉日

前編集副委員長／新美三良



鈴木隆真委員（在：12年）

忘れもしない「東日本大震災」が起きた年に、広報編集委員会に入りました。

あっという間の十数年間。

『循環あいち』の編集に携わることができて光栄であり、とても勉強になりました。

委員会に入った頃、私は40代前半でした。在籍されていた諸先輩方にお世話になり、いろいろなことを教わり、今の年齢になってわかることも多々あり、本当に勉強になりました。

これからも陰ながら広報編集委員の皆様を応援していきますので、（一社）愛知県産業資源循環協会の発展のために、益々頑張ってください！

皆様、本当に長い間お世話になり誠にありがとうございました。



東 昌克委員（在：4年）

4年間という短い期間でありましたがありがとうございました。

新型コロナウイルス感染症が、猛威を振るいだした中での参加のため、活動規制がある中、Web会議を活用しながら、活動してきました。

広報編集委員会は各委員会の中では、一番活動が多い反面、色々な方と出会うことができ、凄く刺激的な活動経験をさせていただきました。

「循環あいち」は、まだまだ進化しております。これからは、一読者として手元に届くのを楽しみにして見させていただきます。

ありがとうございました。



伊藤良文委員（在：3年）

広報編集委員会を退任することとなりました伊藤です。

広報編集委員会で『循環あいち』の編集に携わり、愛産協の重要性と活動を広く会員に伝えるために、広報編集委員会を定期的に開催して文章をチェックして、校正していく作業は私にとって、多くの学びがありました。

特に、正確で魅力的な情報を提供するための校正作業の難しさを痛感しましたが、その過程で得た知識と経験は非常に貴重でした。

委員になるまでは、支部活動の事業報告が『循環あいち』の記事になる過程や苦労を考えたこともありませんでした。

広報編集委員会が皆様に分かりやすく伝えることや、資源循環の意識を高めるための情報発信に力を入れているのを体感できました。

校正作業では、文章の細部にわたる確認の重要性を改めて認識しました。さらに、私が広報編集委員会に入った時期は、コロナ禍で集まって委員会を開くのが難しく、リモートで参加させてもらいました。

これまでのご厚情に深く感謝します。ありがとうございました。



ご退任されました委員の皆様、ありがとうございました。

これからの益々ご活躍とご健康を心より願っております。

新・金井邦剛委員長、伊藤大蔵委員、水野清高委員、
金海慶太郎委員、富田康祐委員
これからよろしくお願いします

金井邦剛委員長

会員の皆様、はじめまして。

2019年より広報編集委員会に参加させていただいております金井でございます。

この度、委員長の大役を仰せつかり微力ではありますが無力ではないと信じて、委員会の皆様、会員の皆様と、より実用的な『循環あいち』の制作に携わっていきたいと思っております。

振り返ってみると、早20年も、この業界に従事させていただいております。

当業界は業務における感染症対策の徹底から始まり、次に環境保全の観点から適正処理の推進、現在では持続可能な未来に向けての資源循環へと移行しつつあります。

しかし、変革を捉えた学術書はありますが実用書が見当たらないような気がします。

『循環あいち』は協会・支部の事業活動や、会員皆様の資源循環等の状況を情報として発信し、さらに学術書では捉えられないような新たな提案、取組も「循環あいちの使命」と考え、次世代の業界の構築に役立てていただけるよう、情報発信の拠点を担うことも役割と考えております。

僭越ではございますが、このような想いで今年度より広報編集委員長を務めさせていただき所存でございます。

皆様、どうぞよろしくお願い申し上げます。

前任の中野兼司委員長及び諸先輩の皆様方、長年ご尽力いただき誠にありがとうございました。諸先輩方の歩んでこられた足跡を大切に継承し、広報編集委員の皆様と進んでまいります。



伊藤大蔵委員

この度は、(一社)愛知県産業資源循環協会の広報編集委員として新たな任を拝命いたしました伊藤大蔵と申します。

この重要な役割を担わせていただくことを、大変光栄に思います。

広報編集委員として、協会の活動をより多くの人々に伝え、理解と関心を深めるために努力してまいります。

今後とも、皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



水野清高委員

今年度より広報編集委員となりました、水野清高です。

広報編集委員会の活動はよく分かりませんが、委員の皆様と協力して与えられた役割に前向きに取り組み、有益な最新情報を発信することに努めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。



新たな力で、パワーアップした広報編集委員会です！

金海慶太郎委員

本年度、東三河支部より広報編集委員を拝命いたしました金海慶太郎です。

初めてのことでわからないことも多いですが、広報編集委員として多くの活動をわかりやすく、有益な情報となるように微力ながらお手伝いさせていただきたいと思います。



また、東三河支部からの出向ということではありますが、自分たちの支部活動だけでなく、他支部の活動の良い点などを吸収し、しっかりとアウトプットできるようにも努めてまいりますので、何卒今後ともよろしくお願い申し上げます。

富田康祐委員

会員の皆様はじめまして。

今年度より広報編集委員会に参加させていただきます株式会社富田商店 富田康祐でございます。

『循環あいち』が会員の皆様にとって、手軽に多くの情報が入る機関誌であり続けるよう尽力してまいります。



初めての委員会活動になりますので、諸先輩方から多くを学び、若い力で盛り上げてまいりたいと思います。

皆様どうぞよろしくお願い申し上げます。

★ 取材先企業様の募集・新企画の募集！ ★

・ 企業訪問 資源循環レポート

新施設・新工場を設立、再資源化への取組、他社にない独自の新しい取組等、取材に伺い内容を掲載させていただきます。

・ 企業における安全衛生への具体的な取組事例

御社の安全衛生の取組を取材に伺い、掲載させていただきます。

・ 本誌への新たな企画がありましたら、ご提案をお願いします。

ご応募の際は、社名、担当者名、電話番号、何の項目（取材希望、新企画の提案）への応募か明記の上、事務局へ FAX またはメールにてご連絡をお願いします。

FAX：052-322-0136

Mail：info@aisankyou.com

※愛産協会員様のみの応募になります。

編集後記

先日、とある人に「趣味は何ですか」と質問され、数秒考えた後、「ありません」と答えた。

そのやり取りを聞いていた妻に、「音楽好きでしょ、ドライブ好きでしょ、映画も好きでしょ」と言われた。

確かに音楽は好きだ。しかしコンサートやライブにはほとんど行かない。40年以上前に揃えたフルサイズコンポーネント（アンプはプリメインアンプ。全ての機器はアナログ式で赤・白のピンプラグで接続、USB端子もBluetooth機能もない）ステレオでかなり大きな音量（田舎なので四方に隣家はない）で聴くとスカッとする。

ただ月に1 or 2度、1時間程度。ジャンルは1960～1980年代のロック、フォーク、ニューミュージック等で最近の音楽は聴かない。

運転も好きだ。ワインディングロードは楽しい。「おっとと・・・膨らんだ！」若かった。

今は必要がなければ運転はしない。映画は年に2～3本映画館で観る。若い人たちがお気に入りの映画を十数回観たという話は聞くがそんな事をしたことはない。ただ休日に、取り溜めしてある映画やお気に入りのDVDを観ることはあるが、月に1度か2度1本/回のみであるがまったりできる。

積極的に時間を作って楽しむのが「趣味」だと思っていたが、隙間時間に音楽等を楽しむのも「趣味」？と考えてみると、それなりに「趣味」を楽しんでいる。

人生100年時代。まだまだまだ先は長い。新しい「趣味」を見つけるのを「趣味」として、人生を楽しみ、有意義に生きていきたいと思えます。

何か「良い趣味」があったら教えてください。

T.O

■広報編集委員

委員長	金井 邦剛	(株)ハヤブサ環境サービス
副委員長	藤本 和也	(株)ワールド・クリーン
委員	天野 晃明	岡崎技研(株)
〃	小野島常夫	ヤマケン(株)
〃	伊藤 大蔵	(有)丸公建材
〃	水野 清高	坪井金属(有)
〃	大塚 敬功	豊田ケミカルエンジニアリング(株)
〃	金海慶太郎	(株)ビソー環境
〃	富田 康祐	(株)富田商店
〃	東久保真弓	(有)愛知環境センター

ー表紙コメントー

愛産協管内での初めての試み、豊明市での「災害廃棄物仮置場設置訓練」においての訓練終了後の記念写真です。

豊明市小浮正典市長の多大なるご理解と圧倒的な推進力のお陰もあったものの、その過程に至るまで関係各位の調整並びに幾多の打ち合わせ会の賜物であることは言うまでもありません。

災害廃棄物処理対策に関する特別委員会の山本浩也委員長、株式会社ダイセキ環境ソリューションの入野智樹様、株式会社中西の中西 隆様、尾張北支部の鈴木隆真副支部長並びに小野仁委員など、関係各位に心より感謝申し上げます。

今後も豊明市との協議継続は然ることながら、支部内各自治体に対しても水平展開できるよう積極的に働きかけていきたいと思っております。

関係各位のご理解とご協力お願い申し上げます。

尾張北支部長 南村朋幸（大和エンタープライズ株式会社）

■支部別会員数

令和6年7月18日現在

支 部	正会員	賛助会員	合 計
名古屋支部	179	49	228
尾張西支部	76	6	82
尾張北支部	83	11	94
尾張南支部	51	6	57
西三河支部	110	4	114
東三河支部	72	5	77
県 外	20	6	26
合 計	591	87	678

青年部：58名 女性部：25名（準会員7名含む。）

循環あいち

第132号

令和6年（2024年）7月20日発行

編 集	『循環あいち』広報編集委員会
発 行	一般社団法人 愛知県産業資源循環協会
	〒460-0022 名古屋市中区金山二丁目10番9号 (第8フクマルビル5階)
	TEL(052)332-0346 FAX(052)322-0136
	https://www.aisankyoku.com E-mail:info@aisankyoku.com
発行人	永井良一
事務局	小坂元信
編集協力・制作	有限会社トピック

〈広告掲載会社名〉

近藤産興株式会社
株式会社明輝クリーナー

株式会社海部清掃
株式会社JEMS
加山興業株式会社

オオブユニティ株式会社
株式会社ダイセキ

私たちは、地域に密着した環境事業を通じて 循環型社会の創造に貢献していきます。



環境に及ぼす影響をすこしでも
おさえる役割をしています。

廃棄物関連事業

収集運搬

浄化槽

浄化槽の施工・清掃からの維持管理

中間処理

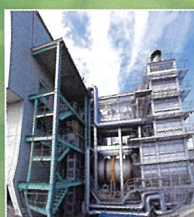
廃液の処理や
廃棄物の焼却からリサイクルまで

- 焼却・破碎
- 中和・脱水
- リサイクル

最終処分場

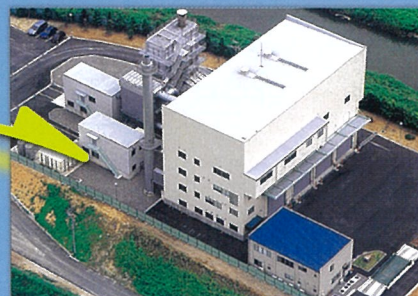
廃棄物の埋立最終処分場

環境との調和を大切にした
廃棄物埋立処分場です。



日量100tの焼却能力を
持つ環境に配慮した
プラントシステムです。

工場



専門メーカー
技術系商社

水の安全性や建物の補修により
産業に大きく貢献しています。

土木・建築・下水道 関連事業

土木・建築関連

- 一般土木工事
- 路面清掃
- 水路・側溝浚渫工事



交通機関の要としての
地下鉄やトンネルをクリスタル
ライニング工法により浸入水防
止を施しています。

クリスタルライニング工法で下水道施設の腐食、劣化、
浸入水を防ぎ効率的にインフラ価値を維持、向上します。

下水道関連など

- | | | |
|------------------|------------------|----------------|
| ●管更生工事 | ●管渠部分補修工事 | クリスタルライニング工法 |
| ●取付管ライニング工事 | ●TVカメラ調査 | シームレスシステム工法 |
| ●汚水自動バイパスシステム | | エコハイブリットライナー工法 |
| ●防食ライニング工事 | SGICP工法 | 3Sセグメント工法 |
| ●接着補強型止水工法 | FRP光硬化取付管ライニング工法 | FRP内面補修工法 |
| ●水中橋脚ライニング工事 | RPS工法 | |
| ●トンネルおよび地下鉄の止水工事 | XVテレビカメラシステム | |

工場改善関連

- スレート屋根の防水・再生
- ラース工法



防水性に優れたラース
工法によりスレート屋
根の補修などで工場全
体を再生します。



ビルの飲料水を供給する受水槽・高架水槽は、
生活の基盤となる水の安全性を守るため、
定期的な清掃を行っています。

ビルの飲料水を安全にするために。

ビルメンテナンス 関連事業

- 貯水槽清掃
- グリストラップの清掃と処理
- 給排水管清掃



UNITY オオブユニティ株式会社

〒474-0001 愛知県大府市北崎町駒場88番地
TEL.(0562)47-0535 FAX.(0562)47-0531

- 一般廃棄物処理事業
- 都市環境清掃整備
- 下水道調査・修理
- 産業廃棄物処理事業
- 処理場の管理
- ビル管理清掃
- 工場環境清掃整備

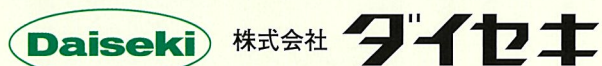
人と自然のために...

「限られた資源を活かして使う」をテーマに
ダイセキグループは最新設備と高い技術力で
[資源循環型社会の構築]に貢献してまいります。

廃油、廃酸、廃アルカリ、汚泥の処理および資源リサイクル



[名古屋事業所リサイクルセンター]



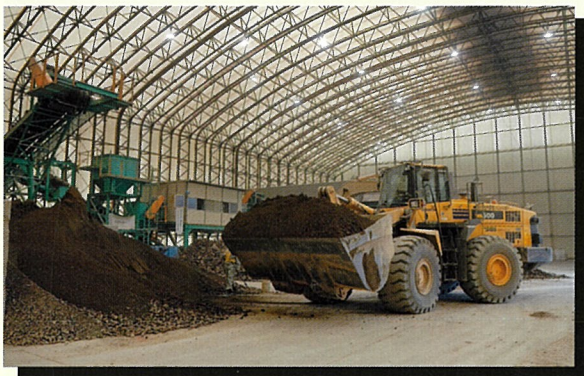
ホームページ <http://www.daiseiki.co.jp>

〒455-8505 名古屋市港区船見町1-86
TEL (052) 611-6321 FAX (052) 611-0160

<事業所ネットワーク>

名古屋事業所	名古屋市港区船見町1-86	TEL (052) 611-6321
北陸事業所	石川県白山市相川新町631-1	TEL (076) 275-6585
関西事業所	兵庫県明石市二見町南二見21-6	TEL (078) 949-1180
九州事業所	北九州市若松区南二島4-13-3	TEL (093) 701-2016
関東事業所	栃木県佐野市西浦町570-1	TEL (0283) 24-8006
千葉事業所	千葉県袖ヶ浦市南袖23-8	TEL (0438) 62-8798

土壌汚染の調査・浄化・無害化の一貫処理および資源リサイクル



[名古屋リサイクルセンター]

株式会社 ダイセキ環境ソリューション

〒467-0852 名古屋市瑞穂区明前町8-18
TEL (052) 819-5310 FAX (052) 819-5311
<http://www.daiseiki-eco.co.jp>

廃石膏ボードの資源リサイクル



[グリーンアローズ中部]

株式会社 グリーンアローズ中部

〒476-0001 愛知県東海市南柴田町ホノ割213-7
TEL (052) 689-3501 FAX (052) 604-1558
<http://www.daiseiki-eco.co.jp/gac>